

HOT NET PRESS

2008.7.1 第71号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市高畑町1202-7 代表 伊藤 満

●tel & fax 0742-94-6800

●email hot-net@bilnara.jp

●HPurl <http://www.bilnara.jp/hotnet/top.html>

総会を開催しました！

去る6月20日午後6時より奈良市高畑町のほっとねっと事務所で、NPOほっとねっとの08年度総会を開催しました。まず議長には伊藤を、議事録署名人に陶山、古川をそれぞれ選出し、議事の提案を北場より行いました。

現在ほっとねっとは、様々な活動を県内の多くのNPO、市民運動とともに展開しています。ひとびとの森、水平社博物館のガイドボランティアの運営、情報格差に対するためのIT支援、人権ワークショップの開催などの活動に加えて、アースデイや菜の花栽培などの地球環境保護に関わる活動や若者の就労支援に関わる活動など、その活動領域は大きく広がっています。総会では、それぞれに日頃継続無尽に展開している活動を報

告しあい、そのあとに続いて行われた交流会も含めて、整理と方向性を見定めるための意見交流の場となりました。

活動の芽は沢山出てきています。少し整理し、問題意識を全体で共有することによって人権と環境を中心とした私たちの活動をより確かなものにしていくことを確認しあいました（3ページへ）。



「菜の花プロジェクト」が 紹介されました！

見事に花を咲かせた「ほっとねっと」の菜の花プロジェクト。この取り組みには「おきらく花伝」という植物活性剤の無償援助も受けましたが、私たちの取り組みのレポートが「おきらく花伝」のHPに掲載されました。以下に、ちょっとだけ紹介しておきます。詳しくは、「おきらく花伝」HPで。

…「菜の花に出逢い、息子が自分の意思で『何かに対して優しく接する心』を覚え、人と人のつながりがいかに大切であるかを少しでもわかってくれたら…。幼い頃から身を持って知ることが、差別や偏見をなくすきっかけであると、親心におもいます。次はタネの収穫です、またご報告させていただきますね。…（平川美香さんより）

★おきらく花伝事務局より

寒々としていた休耕田を開墾して、みごとに菜の花を咲かせた寺前さん、平川さん。人の輪をつなぐ活動に、心から拍手を贈りたいと思います。今後も頑張ってください！！

「おきらく花伝」HP (<http://okirakukaden.com>)。

左側のメニューから「菜の花project」をクリック。

「菜の花」だより

菜種を収穫しました！

ひーとびーとの菜の花畑、予定通り6月14日に刈り取り作業しました。天ぶらパーティをした開花時期から1ヶ月あまり経ち、ナタネは種ができて茶色くなっていました。

しばらく見ないうちの雑草の成長ぶりにびっくり。ナタネよりも多く、背丈も同じぐらい。そして、2、3日前の大雨のせいで、近隣が田植えの時期のためか、地面は水でズブズブの状態。

そんな中、3台の草刈機で何もかもイッキに刈り取った後をナタネだけ集めて束にしてみました。雑草に比べるとわずかに見えても、集めてみると軽トラックで2回に分けて運ぶほどの結構なボリュームに。標準よりも10日程度遅い刈り取りだった割には、そんなに鳥に食われてなく、小さいながら黒々とした‘完熟’の種ができて調度よい感じでした。

作業してくれた磯城野高校のみなさん



刈り取ったナタネをトラックで運んだ先は、同じ田原本町内にある磯城野高等学校。構内で乾燥させた後、18日には先生と生徒有志で種落としをしていただき、19日には2年生の1クラスに菜の花プロジェクトの楽しさ、意義を説明させていただいた後、クラス全員で山積みになった茎の部分を手でできるだけ細

かく切っていました。茎や種の入っていたサヤの部分は、生ごみと一緒に堆肥化され、他の作物や、再び菜の花に活かされます。

種の収穫量は14キロでした。300坪弱の畑で採れるべき量より一ケタ少ない収穫ですが、10月の草刈りから収穫までの色々な人の協力の賜物！とっても重たく感じました。

25日には菜の花を咲かせている他団体の収穫物と一緒に滋賀県の搾油業者へと運んでいただきました。今月末ごろには「自家製一番搾り」が届く予定です。

掖上保育所でも



6月23日(月) 午前、御所市柏原の掖上保育所でも園児たちによる種落とし、唐箕による選別の後、奈良県内で咲かせた菜の花の菜種油で揚げたドーナツの試食会を開催しました。2006年に菜の花の種の全園児配布したことがきっかけで、御所市の「未来の環境を考える会」のメンバーと園に出向いての実現となりました。御所市のゴミを減らす取り組みの一環としての「菜の花ぶろじえくと」が小さな御所市民の間にも浸透してくれたいなあ、との思いで12月には同保育所で廃油キャンドルづくりをさせていただきます。

さらに助成金を得て…

ひーとびーとの菜の花畑は、多くの人の協力で、今春無事に菜の花を咲かせることができましたが、まだまだ深いところにはセイタカアワダチソウの根が残っているし、整備が不十分でまともに作物が栽培できる土地として再生するには時間がかかるし、お金もかかる。そんな現状に、今年度は瀬戸内オーリーブ基金の助成を受けられることになりました。

瀬戸内オーリーブ基金は、産業廃棄物の不法投棄事件があった香川県豊島村の住民の「美しいふるさとを後世に」との思いで長年闘って来た

運動が結実したものであり、中坊公平さんなどが呼びかけ人となって創設されたものです。

助成金を活用して、まず十分に耕した後、夏にはヒマワリを、そして晩秋に再びナタネの種まきや苗植えをして育てます。茎などの部分は粉碎して肥料化し、畑に返すという循環型の取り組みを、障害者や困難を抱えた若者の社会参加など福祉・人権も視野に入れながらやっていく、ということを目指す方向で考えています。

ちっほけやし、上手く花を咲かせてるわけでもないけれど、これも同じ運動やんなあ、と思いながら作業していきたいこの頃です。



総会終了後の交流会は、キャンドル
ナイトでエコを実践

もっと
エコ (環境にやさしく) で
ピース (平和) で
ヒューマン (人間的) な **社会**へ



障害者の生存権を

総会では、07年度の活動、会計報告を承認し、08年度に向けた計画、予算を決定しました。

また、昨今の障害者や若者の就労問題を人権の視点からとらえて取り組みを行うため、「職業能力の開発又は雇用機会の拡充支援」を第3条(目的)に追加。これにともなう「活動の種類」にも「職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動」を追加しました。

人権のベースには憲法25条に保証された「生存権」がある。その意味から言うと、フリーター、ニートや、ワーキングプア等、最近のプレカリアート系が抱える問題、障害者のおかれている状況、年金、医療など高齢者の心配事なども、すべてが人権課題だ。ESD=「持続可能な開発のための教育」や環境の問題にも、もっと取り組んでい

きたいし、ネットワークも、もっと広げたい。...

課題は無限にあるし、それに応えようとするほっとねっとの活動分野は当然のようにさらに広がっています。新事務所を利用して、より一層の充実をはかっていくために、会員皆様方の御支援、御協力をお願いします。

というわけで、まずは08年度の会費を請求させていただきます。同封の納付書で郵便局から、よろしくお願いします。

**08年度会費納入を
 お願いします!**

「封筒リサイクル」から
「生存権」の確立へ!

先月号でお伝えしたとおり、人権と環境と福祉のMixを模索する「封筒リサイクル」の取り組みのための1回目のミーティングを6月22日(日)、新事務所で開催しました。

環境と福祉の両方に接点を持つ坂井美穂子さんをコーディネーターに、福祉作業所に通う二人とその家族、友人。そしてこの取り組みに関心を持っていただいた看護師さん。1回目ということもあり、封筒作りの作業をするにはいならず、福祉の現場の厳しい現状やそれぞれの思い、ほっとねっとが大事にしたい点などを相互に出し合いました。ハンディを持つ人の生きづらさは当事者だけの問題ではなく、親や兄弟、

友人、地域の人など関わりをもつすべての人の問題であり、みんなで楽しみながら、思いや情報を共有しながら解決していくべきもの、とのスタンスでとりあえず月1回のペースで集まることになりました。



また、この取り組みは文部科学省委託の「学びあい支えあい地域活性化推進事業」の参加事業として進めることになりました。次回は7月27日(日) 14:00~16:00。場所はほっとねっとの事務所。気軽にしゃべりながら使用済み封筒を裏返して封筒に再生させる作業に参加していただける方、お待ちしております。

野次馬情報

場示板

●第63回あかおにシアター

上映作品：夕凧の街 桜の国（佐々部清＝監督 / 2007年公開作品）

日時：7月12日（土）・午後2時（約2時間）

場所：桜井西人権文化センター

主催：部落解放同盟大福・吉備支部

参加費：無料（…なのにおやつ付）

問合せ：090-7345-2229（奥携帯）

●オイキムチをつくりましょう！

日時：7月12日（土）14:00～

場所：横井人権文化センター（奈良市横井1丁目616-1）

参加費：200円（茶菓代込み）※奈良人権・部落解放研究所会員は無料 定員：30人

主催・問合せ・申込：（財）奈良人権・部落解放研究所
ヒューライツサロン係 すやま

（TEL0742-62-5179、FAX0742-64-8609）

●映画「1 / 4の奇跡～本当のことだから～」上映会

日時：7月12日（土）開場：13:00

場所：多地区公民館（橿原市新口町244-2、TEL 0744-29-5835） 会費：1,000円 定員：150人

主催：そらまめの会 問合せ：TEL 090-9880-0583、
FAX 0744-24-1720（若松）

E-mail: remon583@yahoo.co.jp

●子ども専用フリーダイヤル公開講座 ティーンズなら

日時：7月15日（火）14:00～16:30

場所：ならまちセンター（奈良市東寺林町38番地 近鉄奈良駅より徒歩約10分）

内容：「子どもが引き込まれる・ネット犯罪」についての講演会。

<第1部・講演会> テーマ「子どもが駆逐し、大人が不安がるインターネット」講師：浅井哲也先生

<第2部・シンポジウム> テーマ「有害情報から子どもを守るために」＝コーディネーター / 北條正崇先生（弁護士）、シンポジスト / 奈良PTA（保護者）代表、生活指導教諭（学校）代表、電話相談の現場代表

主催・問合せ：奈良いのちの電話協会

（TEL 0742-35-0500、FAX 0742-35-0533）

●「六ヶ所村ラブソディ」上映会とトーク

日時：7月19日（土）13:30～16:30



場所：奈良市男女共同参画センターあすなら 大会議室 / JR奈良駅西口すぐ）

（プログラム）13:30～「六ヶ所村ラブソディ」上映
15:30～ 富田貴史さんとお話

<テーマ>六ヶ所村再処理工場とは？そして、私たちの食、暮らしとのつながりについて♪

参加費：1000円

主催・合わせ&申込：六ラブ茶話会 奈良
（TEL & FAX：050-1063-8795（堀田）

E-mail dearchild1103@yahoo.co.jp）

●奈良のケア2008

「家族を支える医療・介護情報」完成フォーラム

日時：7月19日（土）14:00～16:00

場所：ならまちセンター3階会議室

内容：市民による支えあいの活動紹介。

<パネラー>◇NPO法人とまり木：山村悦子さん
市民の立場で専門家と連携をはかりながら運営する地域密着型の相談センター。

◇NPO法人奈良難病連：蜂谷あさ子さん

県内の難病関係の患者会・家族会をつなぐとともに、全国の仲間との連携をはかっている組織。

◇奈良まほろば会：仲田昭七さん

精神障害者家族会の連合会で、県内の家族会と情報交換し、要望活動と連携に取り組んでいる。

◇コメンテーター：奈良県福祉政策課：寺田豊さん

問合せ：財団法人たんぼの家

（Tel 0742-43-7055 Fax 0742-49-5501

Email: carecare@popo.or.jp）

●自由空間ねん「夏休み里山クラフト教室」

日時：7月27日（日）10:00～15:00

場所：柳生の里 自由空間ねんのフィールド

内容：自然のめぐみを使って、工作しよう

持ち物：お茶、お弁当、帽子

参加費：500円（材料費、保険料他）

申込み：7月23日（水）までにきたうら

（E-mail:jiyukukannen@yahoo.co.jp）

●井筒和幸（映画監督）トークショー

日時：7月31日（木）12:30～16:00

場所：橿原文化会館（近鉄八木駅より東へ100m）

参加費：無料

主催・問い合わせ：部落差別等撤廃と人権確立をめざす奈良県民集会（TEL/0742-64-1631）

※7月は「差別をなくす強調月間」で、各市町村などで集いがひらかれます。くわしくは<http://www.pref.nara.jp/jinken/kyocho/shichoson.htm>

自然体験講座

(奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会)

8月23日(土) 10:00~15:00

冒険遊び場「ひーとびーとの森」

(奈良県宇陀市榛原区八滝、国道369号線沿い)

野外料理と 夏の森体験ゲーム

定員
40人



※未就学児は保護者同伴のこと。※申込者多数の場合は抽選。

プログラム:

- 10:00 集合・オリエンテーション
- 10:30~ 火おこし、薪割りからはじめる野外料理に挑戦!
- 12:00~ ランチタイム
- 13:00~ 川の水質調査・川遊び
- 14:00~ 森の自然観察ゲーム・フィールドアスレチック
- 15:00 解散

持ち物: 水筒・タオル・川
用のはき物(古靴・ビーチ
サンダル・長靴など)・着
替え一式・帽子

参加費: 1人500円
(保険代・食費含む)

※ハガキ・FAX・Emailで住所・氏名・電話番号を記入の上申し込む。(8月13日必着)
申込・問合せ先

奈良県環境県民フォーラム事務局

〒630-8501 奈良市登大路町30 県環境政策課内)

TEL 0742-27-8732 FAX 0742-22-1668

Email: kankyo@office.pref.nara.lg.jp

FAX 申込用紙

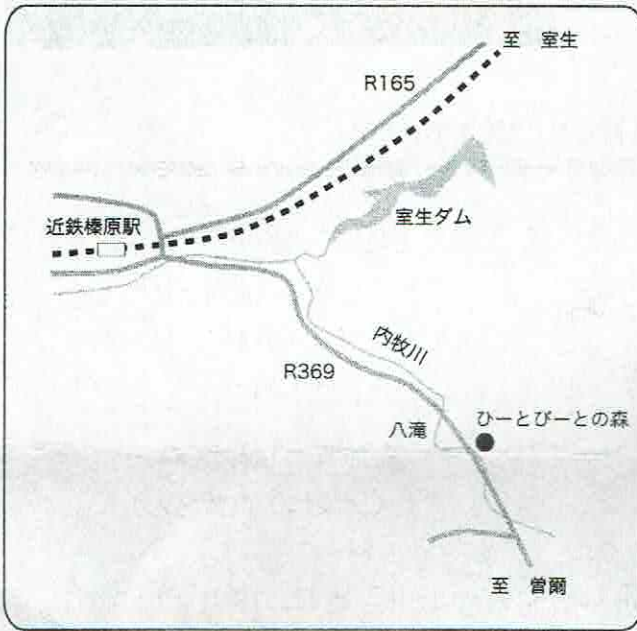
FAX 番号 0742-22-1668

◎ 8月23日自然体験講座に申し込みます。

氏名： (年齢 歳)

住所：

電話番号：



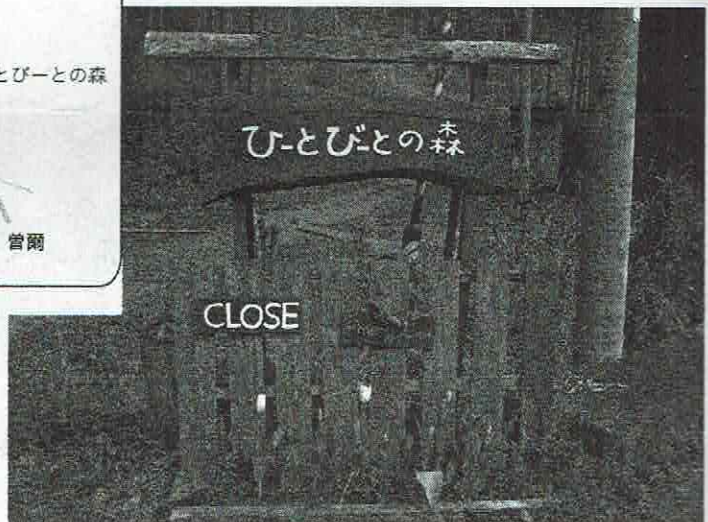
アクセス：

近鉄榛原駅から・・・

(奈良交通バス) 上内牧行きか曾爾村役場
前行きに乗り、八滝駅下車 徒歩3分

(車) 369号線を曾爾村方面へ約10分
※たかぎふるさと館近く、榛原自動車様前

この看板が目印→



2008年6月2日

会員各位

特定非営利活動法人
ほっとねっと
理事長 伊藤 満
(公 印 略)

2008年度総会開催の御案内

初夏の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、「ほっとねっと」は、皆様方の御支援によりまして、「人権」を日常生活に根付かせていくため、諸活動を継続してきました。主な活動については会報「HOT NET PRESS」等でお伝えし、徐々に各方面から声をかけていただくことも増えてきましたが、今後さらに活動を定着させ、より充実したものにしていきたいと考えています。
つきましては下記のとおり08年度の総会を下記のとおり開催いたします。
是非積極的な御参加をお願いします。

記

日時 2008年6月20日（金） 午後6時30分～

場所 ほっとねっと事務所
奈良市高畑町1202-7 (TEL & FAX 0742-94-6800)

議題 2007年度事業報告、会計報告、会計監査報告
役員選出
2008年度事業計画、予算

※なお、当日出席できない方は、下記の委任状に署名のうえ、事務局までFAX (0742-94-6800) していただくようお願いいたします。

委 任 状

私は、6月20日開催のほっとねっと2008年度総会に出席できませんので、総会議長を代理人と定め、次の権限を委任します。

1. 2008年度総会における議案の議決に関すること。

年 月 日

会員名

印

(団体会員の場合は、代表者名もご記入ください。)

HOT NET PRESS

2007.4.1 第56号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

●tel 0742-64-0015

●email hotnet@bllnara.jp

●HPurl <http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html>

小雨ニモ負ケズ...

アースデイ・なら South

4月22日、実行委員会のメンバー達で「アースデイならsouth」を開催した（詳細は2～3ページ）



今年度もアクティブに！

森のPP(プレイ)で
源流を冒険しよう！

川遊びのシーズン到来です！(〇〇)今年度のプレイパークでは、大阪コミュニティ財団の「東洋ゴム環境保護基金」の助成を受けて、じっくり川と親しもうと思っています。

ひーとびーとの森の下を流れるのは内牧川。流れながれて最後は大阪湾に。ということは、ここは大阪の人たちの飲料水等に利用されている淀川の源流域になるんです！



川の幅はどれくらい？深さは？流れの速さは？水質は？どんな生き物がいる？石は？川辺の様子は？いつものように遊びながらいろいろ

なことを学んでいきます。意外に知られていないけど、ひーとびーとの森のすぐ下の部分って、コンクリートで護岸されていない、昔と変わらない自然の宝庫なんです。ゴミ拾いをしながら、上流に向かって探検も！

同じ淀川流域の県外の人たちに来てもらっての交流会も考えてます。

一方、森の中では「奈良県共同募金会」の助成で火に親しみ、食を楽しむ「キャンプ教室」も開催します。6月23日はホテル鑑賞もするよ！

総会は6月22日に

皆さんのおかげで、なんとか維持しているほっとねっとの活動。課題も多いが、夢もある！今年度の総会を下記のとおり開催します。是非参加して夢を語り合しましょう。

〇〇7年度総会

日時：6月22日(金) 午後6時30分～

場所：奈良県社会福祉センター第三会議室



■今回も雨???

今回も天気予報は雨。

7時半。まだ空は明るい。当然のように開催はゴーサインとなり、ステージの設営を始める。なんとかもってほしいが…。

そのうち会場の榎原文化会館前広場には出演者や展示・バザーの出展者が集まりはじめ、それぞれの準備が始まっていった。日頃何らかの環境問題に取り組んでいる約30団体が展示やバザーの出展を行ってくれた。

■いよいよ開始!

10時過ぎからイベントが始まり、参加してくれたバンドの演奏や団体のアピールが行われた。司会のSさん、I氏のコンビは昨年に増して軽妙で、会場をまとめて引っ張ってくれた。榎原文化会館前の芝生は風が吹いてとても心地よい場所になった。僕は雑務をサボり、芝生に腰を下ろして気持ちのいい音楽を楽しんでしまった。流石に主催者側なので、寝そべるのはやめたが…。



気持ちのいい音楽

地球へのメッセージ

エコロジカ

サステイ

アースデイ

ステージでは和太鼓の鱗角舎、高校コーラス部のOGで、現役女子大生グループ888(ハチミツ)、明日香村の高内良叡さん、昨年に続いてスタンドバイミーを歌ってくれたM&M、ノリのいいブルースのケイジャンスパイス、そしてピュアでキュートなプライナス、ボリビア音楽のチャスキーと気持ちのいい音楽が続く。

周囲には、それぞれの団体が問題意識を持って設置したブースが連なる。パネル展示に物産販売、模擬店、そしてもちつきイベントも…。

■ついに雨が…

午後2時ごろからついに雨が降り始めた。雨の中で聴くEOSのゴスペルには泣かされた(雨が降っていて良かった)。あらいなおこさんのハーモニカを聴くと遠くの景色を眺めたくなった。

Salt & Uribossaのボサノバで参加者は和み、そのままエンディングへ突入した。地球環境保護への願いをつけた竹が立てられ、会場のみんながアースを歌った。





しで ナブルな未来へ

※サステイナブル
=「持続可能な」の意

South&奈良

素朴に開催した2回目のアースデイ。反省点はたくさんあるが、とりあえず楽しかった。次回はもっとメッセージ性を強めよう。

いい加減な運営に付き合ってくれた実行委員や参加団体の皆さんに深謝！

(理事長のブログより)

- 「アースデイなら South に参加して」
- …『瑠璃色の地球』の歌詞に「ひとつしかないわたしたちのほしをまもりたい」というフレーズがあります。この部分はこの曲の中で一番伝

えたいところであると思うし、私たちも気持ちを込めて歌ったところです。…あっという間に私たちの出番は終わりましたが、いろんな人に拍手をいただき、はじめてのステージをやり遂げた達成感でいっぱいでした。みんな笑顔でした。…いくつになっても、夢中になること、遊び心を忘れないでいることは素敵だなと思いました。ありがとうございました。/出演してくれたコーラスグループ 888 (はちみつ) メンバーのSさんより。



奈良公園でも…



同日、奈良公園をメイン会場に「アースデイ奈良」が開催されました。過去に一度だけ、外国人の教員

グループがアースデイをここでやったらいいのですが、今年は有志で復活させました。

ライブや地産地消、森林保護、無農薬といった観点からの商品販売、ネイチャーゲームなど。県文化会館多目的室では環境・人権・平和団体などの活動展示とビデオ上映。そして周辺のエコなこだわりを持つお店にも協力してもらってスタンプラリーも試みました。

本部企画としては、日本在住イギリス人、

チャーリーさんが全国行脚して広めている、折り鳩の「きゅうちゃん」で改めて憲法9条の素晴らしさをPRしたり、「もんじゅ…」「魔法のランブジニー」など原子力発電や核兵器の問題を扱ったもの、「ノルウェー・オスロの持続可能なまちづくり」「未来を生み出すリサイクル」「菜の花プロジェクト」など循環型社会モデルの紹介などのビデオ上映を行いました。またライブ出演してくれた「バンドリーズ」は、今年の「アースデイJP」(全国のアースデイのゆるやかな連絡組織)のテーマである「日本の核問題」について語ってくれました。ライブの締めは子どもたちが「危機的状況の地球、私たちにできることは？」と劇で力強く問題提起してくれました。

こんな風に「アースデイ奈良」は地味だけれども、メッセージ性を強めに打ち出せてたんじゃないかと思います。(T)

野次馬情報

掲示板

●第49回あかおにシアター

上映作品：フラガール

・(李相日=監督/2006年日本劇場公開作品)

日時：5月12日(土)・午後2時～(132分)

場所：桜井西人権文化センター(桜井市吉備646-16、近鉄大福駅から南へ約400m国道165吉備交差点から北へ約10m)

参加費：無料(…なのになおやつ?付)

主催：部落解放同盟大福・吉備支部

●講演会「アマゾン、森の精霊からの声」

アマゾンから長老さんがやってきます。講師の南研子さん、アマゾンの長老さんたちと楽しい一日を過ごしませんか?

日時：5月28日(日) 13:30～17:00

場所：西大寺境内 興正殿

(近鉄大和西大寺駅下車、南西徒歩5分)

参加費：2,500円(前売り2,000円)

定員：250名交流会で軽食を用意しています。マイ箸、マイカップをご持参ください。

※あわせて5月29日(火)春日原生林ツアーを予定しています。定員/先着30名、9時半に近鉄奈良駅集合。

申込：口座名義 奈良ガイア村 郵便振込口座「00920-0-279492」通信欄に、5/28参加券何枚とご記入の上、お申し込みください。

問い合わせ：携帯：090-7969-0461(茶珍)、T/F：0742-41-5853(森井) 0742-30-5755(田北)、メール：ami.deo@kcn.jp

●連続セミナー

「誰もが暮らしやすい社会を目指して」

日時：5月29日(火) 18:30～20:00

会場：大阪ガス本社(ガスビル)3Fホール

(地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車、徒歩5分)

講師：田村太郎氏(ダイバーシティ研究所代表、多文化共生センター・大阪代表理事)

内容：私たちが日常の生活の中で、何気なく目にするコンビニ弁当や車も今や外国人住民抜きには考えられません。ところが彼らを取り巻く環境は、生活費、教育、医療費も極めて厳しい現状です。このような現状と打開策について、経験豊かな田村

さんに話して戴きます。

参加費：無料、定員：70名(先着順)

申込：5月24日(火)までに、電話、FAX、大阪ガスHPから。お申しください。

問い合わせ：大阪ガス株式会社 近畿圏部 いきいき市民推進室 TEL 06-6205-4723、FAX 06-6226-0245 <http://www.osakagas.co.jp/>

●シンポジウム

「ジェンダーの視点で非行を考える」

子どもが社会で生きていくため思春期の子育てを問い直し非行からの立ち直りと未来を考えるシンポジウムです。

日時：5月26日(土) 13:30～16:30

会場：ドーンセンター大会議室(大阪市中央区大手前1-3-49 TEL06-6910-8500)

◇第1部 基調講演「子どもの危機を考える～支える・つなげる・守る、支援活動の現場から～」能重真作氏(NPO法人非行克服支援センター理事長)

◇第2部 シンポジウム/コーディネーター・松浦善満氏(和歌山大学教授)

参加費：一般1,000円、学生800円(一時保育子ども1人につき700円(生後3ヶ月～就学前まで)、定員：72名

問い合わせ：NPO法人関西こども文化協会
(TEL 06-6460-1621、FAX 06-6460-1621、E-mail: office@kansaikodomo.com、<http://www.kansaikodomo.com>)

●女性のためのチャレンジ講座

・ワタシから発信!フリーペーパーを作ろう

子育てママ情報やサークル活動、身近な生活情報にすてきなお店…みんなに伝えたい!そんなあなたのための「フリーペーパーづくり」を学ぶ講座です。ブログやホームページの編集にも。

期日：5月24日～6月21日の間の毎週木曜日・

5日間いずれも9:45～11:30

場所：奈良県女性センター 3階講座室

奈良市東向町6(近鉄奈良駅下車5分)

申込み：葉書かFAX、ホームページで「講座名、氏名、住所、電話、年齢、託児希望の有無」を書いて下記へ5月17日(木)までに申込。受講の可否は葉書で通知。

問い合わせ：奈良県女性センター 事業係

TEL: 0742-27-2300、FAX: 0742-22-6729

URL: <http://www.pref.nara.jp/joseic/>

水平社博物館ガイドボランティア

新年交流会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素はNPO法人ほっとねっとの活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

水平社博物館の見学者に対する館内・館外のガイド活動をはじめて丸4年がたちました。日頃の感謝の意を込めて、ガイドとしてご活躍いただいている皆様と、ガイド養成講座を修了いただいた皆様と一緒にささやかなランチをとりながら懇親を深めるひと時を企画いたしました。

日時：2007年1月13日(土)12:00~13:30

場所：宮廷飯店（近鉄百貨店橿原店7F）

近鉄八木駅すぐ TEL0744-22-5481

何かとご多用のこととは存じますが、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

ご参加いただけるようでしたら、お手数かけて申し訳ありませんが、下記連絡先まで1月9日までにご連絡いただけますようお願い申し上げます。

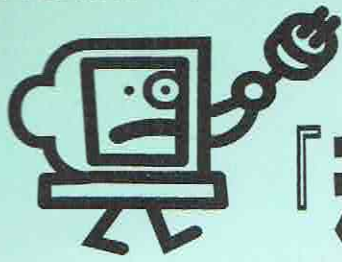
敬具

〈ご参加いただける場合の連絡先〉

ほっとねっと (TEL0742-64-0015)

Email:npohotnet@yahoo.co.jp)

または寺前 (携帯 090-8233-9172)



自分らしい生き方を見つきたいあなたへ

『若者の e 場所』づくり

説明・相談会



パソコン「Word」「Excel」講習、英会話教室、交流ワークショップをベースに自分の未来設計をする「たまり場」について、個別の説明・相談会を下記の通り開催します。

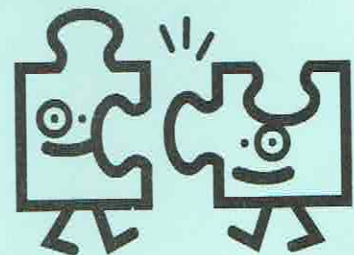
北和会場

日時: 6月23日(金) / 6月30日(金) 午後1時～午後8時
場所: 県解放センター 2階 和室 (奈良交通大安寺バス停下車)

中南和会場

日時: 7月7日(金) 午後5時～午後8時
場所: 宇陀市榛原総合センター (近鉄榛原駅北口より徒歩 5 分)

- ★何か新しいことをはじめたい (一人で打ち込める何か・数人の仲間と取り組む何か・大勢の力が必要なことへの参加)
 - ★自分を生かせる場所を見つけない
 - ★自分に合った仕事をみつけたい
 - ★就業に向けたアクションを起こしたい
 - ★自分なりの生き方を見つけない
 - ★いまやっていることを発展させたい
 - ★何かスキルを身につけたい
 - ★とりあえず人の話を聞いてみたい
 - ★とにかく話を聞いてほしい
 - ★ひとまず落ち着ける場所がほしい
 - ★有り余るパワーを注げる場がほしい
 - ★じっくり将来設計がしたい
 - ★パワーを蓄えるための充電期間がほしい
 - ★世の中と自分のつながりづくり、なかまづくりをしたい
- そんなあなたをお待ちしています。



電話・メール
相談も可

問合せ先: NPO 法人ほっとねっと (tel0742-64-0015 mail:hotnet@bllnala.jp)

〒630-8133 奈良市大安寺 1-23-1 県解放センター2階

「e-場所」 実務講習シリーズ

ラッピング講座

■日時：1月27日（土）、2月3日（土）、2月10日（土）
14：00～16：00（1回のみ参加もOK）

■場所：奈良カフェ「由庵」^{ゆうあん}（奈良市高御門町 13-1）

■参加費：各回千円（資料代、材料費、茶菓代込み）

■定員：15名 ■主催：ほっとねっと

■申込・問合せ：ほっとねっと（TEL0742-64-0015 FAX0742-64-1640）裏面に申込用紙
奈良カフェ「由庵」（TEL0742-26-4455 Email:youan@naracafe-youan.com）

〔プログラム〕

1月27日 布でラッピング（風呂敷、バンダナでボトルや箱、フルーツを包んでみます。いろいろな形に七変化した後、最終的には何になるか、お楽しみに）

2月3日 竹炭・檜チップをラッピング（空気清浄作用や脱臭効果のある竹炭や良い香りが鎮静効果をもたらす檜のチップをラッピングして部屋のインテリアに）

2月10日 チョコレートをラッピング（バレンタインデー直前対策！）

講師：仁尾純子（ラッピングハウス JUNE）

パソコンフリースペース

毎週月曜 13:00～17:00

参加費：千円（茶菓付き）

パソコンの自主練習やインターネットの閲覧ができます。落ち着いた場所でのんびり過ごしたい方、どうぞ。（1階カフェに迷惑がかかるような音を出すのはご遠慮ください）

パソコン教室

毎週月曜 18:00～19:00

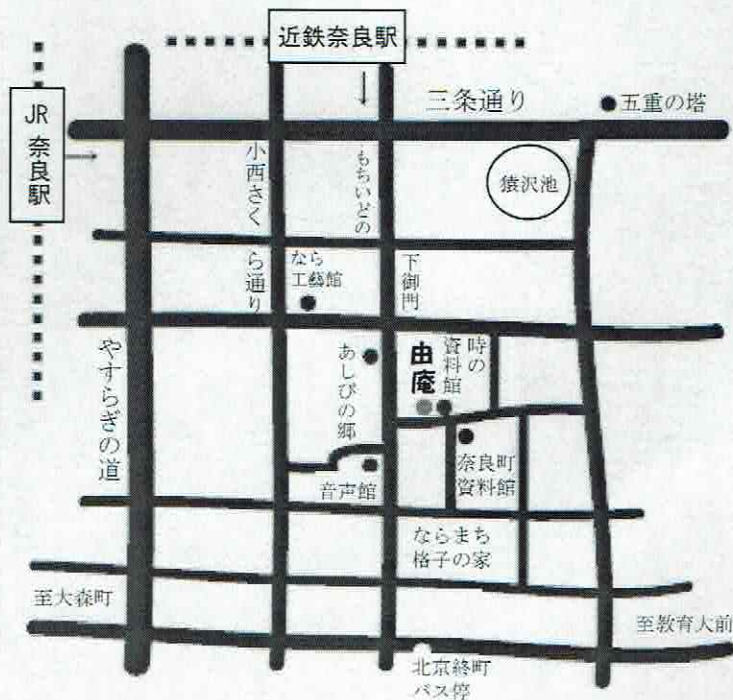
参加費：千円（茶菓付き）

タイピングレッスンと

Word、Excel 初級講座。

Mos 受験対応。裏面に申込用紙

場所：奈良カフェ「由庵」



2006 人権啓発・教育コーディネーター養成講座

「ふらっと・無駄話の効用」

「明日へつなぐ人権啓発」

講師は左記

幸田 英二 さん
(大阪市住吉人権協会)

宝田 裕士 さん
(奈良市立東市小学校)

です。よろしく願います。

要領書を
ダウンロード
してください
必ず
お読み
ください

講座の趣旨
多様化する社会において
「ふらっと」がキーワード
です。

予定プログラム (紫) 22日 (金)

14:45 受付開始 (佐保人権文化センター)
15:00 オリエンテーション/日程説明
15:15 ワークショップ
18:00 休憩 (移動)
18:30 交流研修会
21:00 終了

23日 (土・祝)

8:45 受付開始 (佐保人権文化センター)
9:00 オリエンテーション/日程説明
9:10 ワークショップ
11:30 休憩

12:30 ワークショップ
15:00 ふりかえり/全体まとめ
15:30 解散

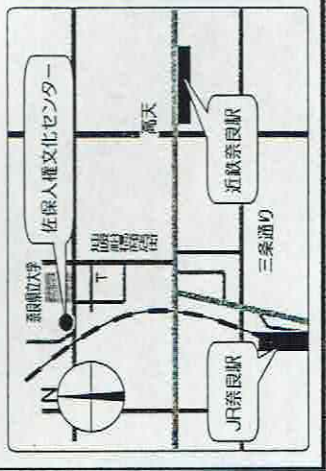
定員は40名です。懇親会および宿泊については要申込。(※切り12月20日)

日時
2006年12月22日 (金)
午後3時から
2006年12月23日 (土)
午後3時30分まで

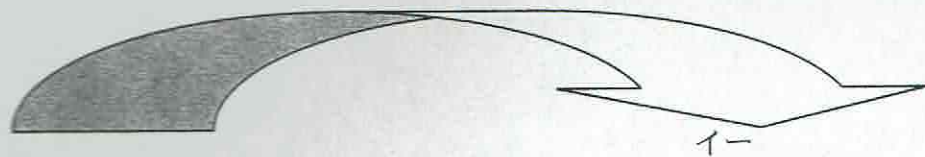
費用
資料代 1000円
懇親会参加費 2000円
宿泊代 5000円

主催
奈良県
NPO「ほっとねっと」
(「ボランティア・NPO活動推進基金」活用事業)
問合せ・申込み
NPO「ほっとねっと」
TEL 0742-64-0015
FAX 0742-64-1640

場所
奈良市佐保人権文化センター
(住所：奈良市畑中4-4)



※「2006人権啓発・教育コーディネーター養成講座」は県とほっとねっととの協働事業です。



ほっとねっとが提供するフリースペース「**e 場所**」

「e-場所」は「Word」「Excel」講習、英会話教室をベースにした「たまり場」です。何よりも「自尊心」「自己肯定感」を高めることを大事にしています。

「Microsoft Office Specialist」や yahoo のネット検定の中で興味のあるものにチャレンジしてみたり、ブログ開設してみたり、ラッピング講習やアウトドア講習、家電やクルマの最新製品情報などの実践的なプチ講座を受講したり。そんなことをしているうちに「就業したい」「コレがやりたい」というプランができればキャリアカウンセラー、相談員、そして新しくできた仲間があなたをバックアップします。ただ単に「ほっとしたいだけ」の人もどうぞ。「Word」や「Excel」や英会話で好きなことに関わる手もあります。

今の世の中、情報があふれすぎていて、あなたもわたしもあの人も・・・みんな自分や他人や社会とコミュニケーションがとりにくく、物事に優先順位もつけにくくてやりにくい！何かと関わりたいけど、どう関わっていいのかもわからへん！だからいろいろなスキルアップを目指しながらもお互いに話を聴きあう「交流ワークショップ」を何度でもやって、それぞれの中にある宝物に磨きをかけていくという“工程”を重要視します。

★何か新しいことをはじめたい

- ・ 一人で打ち込める何か
- ・ 数人の仲間と取り組む何か
- ・ 大勢の力が必要なことへの参加

★自分を生かせる場所を見つけたい

★自分に合った仕事をみつきたい

★就業に向けたアクションを起こしたい

★自分なりの生き方をみつきたい

★いまやっていることを発展させたい

★何かスキルを身につけたい

★とらええず人の話を聴いてみたい

★とにかく話を聴いてほしい

★ひとまず落ち着ける場所がほしい

★有り余るパワーを注げる場がほしい

★じっくり将来設計がしたい

★パワーを蓄えるための充電期間がほしい

★世の中と自分のつながりづくり、なかまづくりをしたい

そんなあなたをお待ちしています。



詳しくは下記までお問合せを

NPO 法人 ほっとねっと

TEL0742-64-0015(事務所)

090-8233-9172 (担当：寺前)

E-mail:hotnet@bllnara.jp

「プレイパーク」は
自分の責任で、自由に遊ぶ冒険遊び場。
たまには、おもいきり
野外で遊んでみませんか？



プレイパーク
じつこるかい？

●8月26日 (Sat.)

10:30~14:00 (小雨決行)

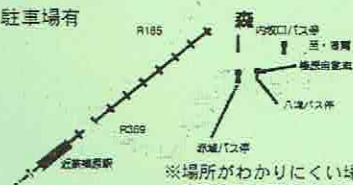
●「ひーとびーとの森」

現地集合

宇陀市榛原区八滝

(八滝バス停下車徒歩5分)

駐車場有



●参加費 (1人)
大人 (18歳~) 300円、
子ども (6歳~18歳) 150円
(保険代含む)

●参加対象
おもいきり遊びたいと思っている
ファミリー、グループ
(先着20グループ/約50人)

●持物
弁当、水筒、ビニール袋、
水着、タオル、着替え

●メニュー
自然観察、川遊び、ネイチャーゲーム
ほか

奈良県環境県民フォーラム事務局 (県環境政策課内)

電話: 0742-27-8732 FAX: 0742-22-1668

e-mail: kankyo@office.pref.nara.lg.jp

実施 NPOほっとねっと

(財) なら・シルクロード博記念財団 (NIFS) 国際交流助成金 助成事業

外国人と書道を習おう!

Study of calligraphy

(3/23pm) 14:00~16:00 Naracafe 「youan」

<http://www.naracafe-youan.com/>

■日時：3月23日(日) 14:00~16:00

■場所：奈良カフェ「由庵」(奈良市高御門町 13-1)

■参加費：千円(資料代、材料費、茶菓代込み)

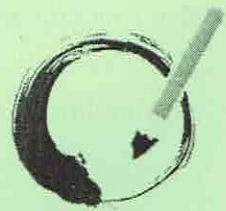
■講師：木原静光さん

■定員：15名 ■主催：ほっとねっと

■申込・問合せ：ほっとねっと (TEL0742-64-0015、09082339172(夜間))

FAX0742-64-1640、Email:npohotnet@yahoo.co.jp)

奈良カフェ「由庵」(TEL0742-26-4455)



パソコンフリースペース

毎週月曜 13:00~17:00

参加費：千円(茶菓付き)

パソコンの自主練習やインターネットの閲覧ができます。落ち着いた場所でのんびり過ごしたい方、どうぞ。(1階カフェに迷惑がかかるような音を出すのはご遠慮ください)

パソコン教室

毎週月曜 18:00~19:00

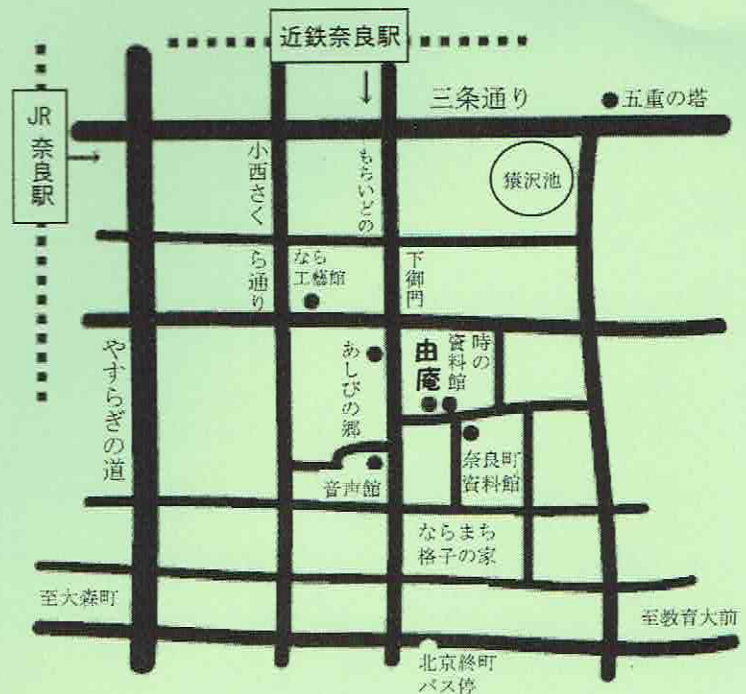
参加費：千円(茶菓付き)

タイピングレッスンと

Word、Excel 初級講座。

Mos 受験対応。

場所：奈良カフェ「由庵」



外国人と書道を習おう！申込用紙

[Study of Calligraphy] application

お名前 Name	
連絡先 Telephone number or Mail address	

FAX0742-64-1640

TEL0742-26-4455

Emailyouan@naracafe-youan.com

「子どもと確かめる淀川源流域の環境」5回め

「ひーとびーとの森」の下を流れる内牧川（淀川源流）の生き物、水の様子を子どもと大人で確かめよう！



場所：ひーとびーとの森

(奈良県宇陀市榛原区八滝) 裏面に地図



3月30日(日)

10:30～15:00

●10:30～12:30

水質調査・清掃

アマゴ放流・観察

釣り入門・川遊び

●12:30～13:30

昼食、プレイパーク説明

●13:30～15:00

冒険遊び場で自由遊び

(友達づくりのチャンス!)

■参加費 (保険代・資料代含む)

18歳以上 300円 6歳以上 150円

■持ち物

弁当・水筒・長靴・着替え・タオル

問合せ：TEL0742-64-0015、09082339172 (夜間)

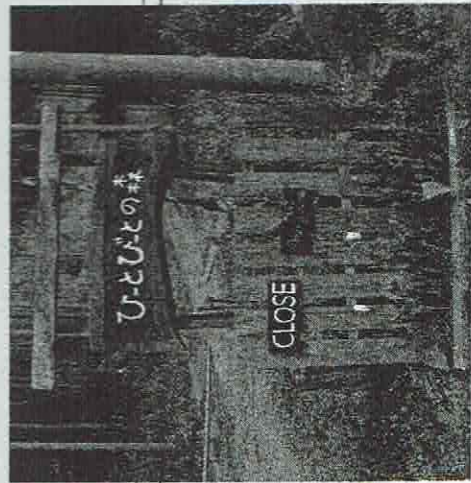
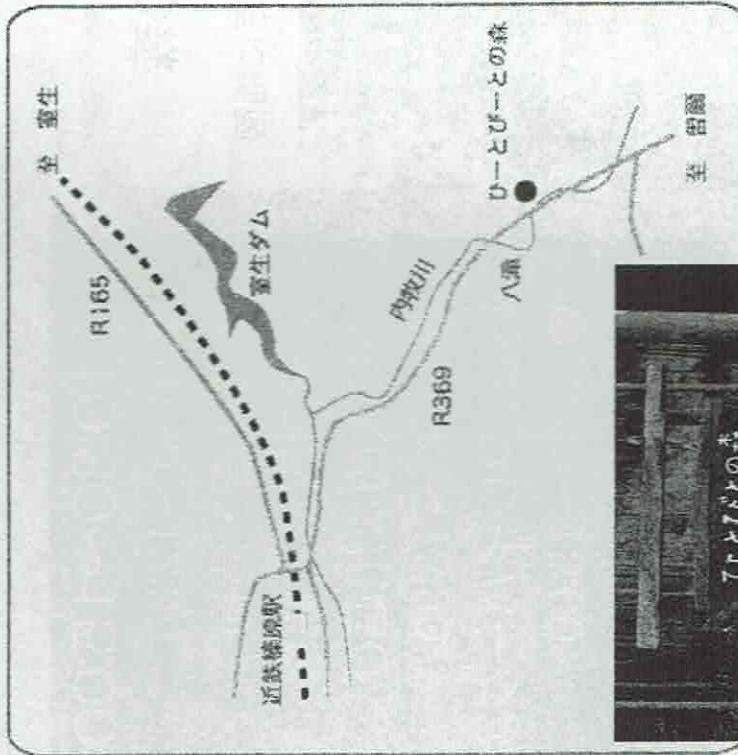
Email: npohotnet@yahoo.co.jp

(裏面にFAX用申込用紙あり)

NPO 法人ほっとねっと

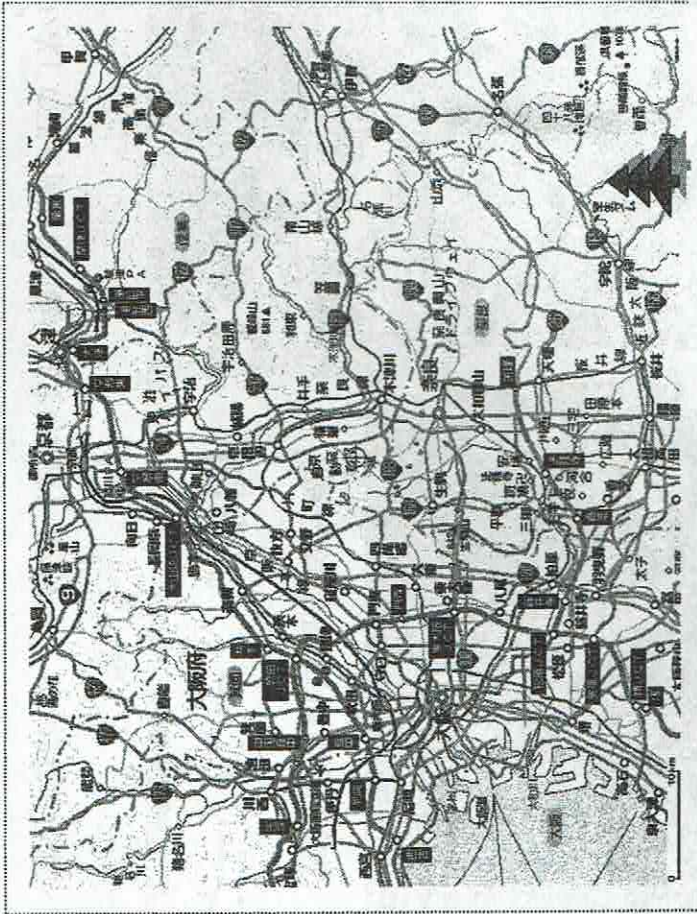
自然観察&プレイパークinひーとびーとの森

周辺地図



←入口の看板です

近鉄榛原駅から・・・
 (奈良交通バス)
 上内牧行き or
 曾爾役場前行き
 八滝下車徒歩3分
 (車)
 369号線を曾爾村方面へ
 (約10分～15分)



ひーとびーとの森

奈良県宇陀市榛原区八滝 (榛原自動車線向かい)

3月30日申込用紙 FAX0742-64-1640 TEL0742-64-0015

(代表者のお名前)		(参加人数) ※当日変更可
(連絡先) ※TEL、FAX、Emailなど		人
(当日連絡用の携帯電話番号)		

HOT NET PRESS

2007.8.1 第60号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

● tel 0742-64-0015

● email hotnet@blnara.jp

● HPurl <http://www.blnara.jp/hotnet/top.html>

いざ源流へ！ 2007年夏



子ども探検隊が行く！

夏真っ盛り！

夏休みに入って、ひとびとの森ではいろいろなイベントが目白押し。たくさん子どもやおとな達が訪れています。

「子どもと確かめる淀川源流域の環境(上の写真、および2ページ)」や開催予定の「子どもエコクラブ交流会(8月18日)」をはじめ、各地域の子ども会やクラブ、青年達のバーベキューなどにも利用されています。

つい最近感じたこと。

森にバーベキューに来た青年達が、炭を熾すのに「着火材はないの？」と聞いてきました。「ないよ。木を燃やして炭を熾せばいい。」というと、どうやって木を燃やすのと尋ねてきました。簡単に説明をしながら火を熾したのですが、火を燃やし続けることすらできないだろうと思いながら、僕は森を後にしました。

不思議に思ったのは、紙に火をつけて木を燃やすことを、実際にやれないとしても、知識として知らないのだろうかということでした。20歳前後の青年達はすでにIHの世代だろうか。ガスや電気のコンロは知っていても、木や炭を燃やした経験はないのかもしれない。こうした世代は中越沖地震のボランティアをする方があるのだろうか…。

少し理屈っぽい話になるかもしれませんが、いま、「仕事でもなく消費でもない自己実現」という言葉に思い入れがあります。例えば「料理をすることに対する喜び」みたいなもの。そうしたものは、程遠いところに彼らはいらるのだろうか。

水の流れ、草のにおい、焚き火のけむり…。子どもたちは「森」で遊んだことをそのうち忘れてしまうだろう。が、この経験は体が覚えていて、と信じたい。(1)

■第3回 「子どもと確かめる淀川源流域の環境」

源流探検で

川の面白さところわさを知る

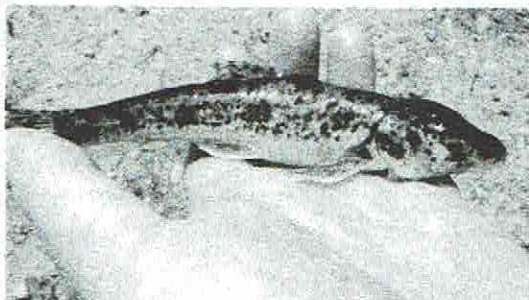
・7月28日、ひーとびーとの森で「子どもと確かめる淀川源流域の環境」3回目を開催しました。講師は5月の1回目に引き続き自然観察指導員の久保田有先生。今回は川ウォーキングに挑戦です。子どもと付添いの大人あわせて20人ほどが参加してくれました。

前回は生き物や川幅などを調べましたが、今回は体全体で川のことをさらに深く知ろうというのが狙いです。

先生から「5月には幼虫だったものがトンボになって飛び回っているかも。運がよければ脱皮の瞬間が見られるかも…」などと説明を受けてワクワクしながらいざ川へ！いつもの入渓ポイントよりはだいぶ下方から入って上流へと歩いていきました。

変化なく流れているように見えても、いざ川の中へ入ってみると、少しでも位置が変わると流れの速さや深さ、周辺の植物の様子など表情が全然違うことを体感していきました。流れがゆっくりの箇所でも見た目よりはずっと速く流れています。そんな流れに逆らって歩くので結構力が要ります。バランスを崩して転んだり、深みにはまったり、岩に当たったり…。

子どもも大人もずぶ濡れになりながら、普段めったに行かない滝のある地点までたどり着きました。川から上がって再び先生の解説。



「さっきの川歩きでこんなものを見つけたよ」と先生が見せてくれたのはカマツカ(中央下の写真)。「この魚の口は面白い形をしているよ」「菖蒲湯に使う菖蒲も生えていたよ」等々。

生物などの説明の後には、「今日体験した川の怖さは覚えておいてほしい。自然と上手に付き合って生きていこう」とのお話もありました。毎年、夏休みに水辺での事故がたくさん報告されていますが、川や水の怖さを体験をした子ども達は、机で勉強するよりずっと大切なことを学んだに違いありません。

また、土用の丑の日が近いこともあり、四万十川の近くで育った先生からウナギの捕獲方法についてのレクチャーも(右下の写真)。子ども達は興味津々という顔で聞いています。

「この川でもきっと魚が釣れるよ」との先生の言葉に触発されて午後からも川で遊びたい人続出！フィールドアスレチックなど、森で遊ぶ予定を変更して、手に手に釣竿を持って再び川へ！皆、川での釣りは初めてとあって、何度も釣り糸を絡ませながらも、それぞれに満足のいく釣果をおさめているようでした。

来館 20 万人を達成

御所の水平社博物館

8月3日、水平社博物館は通算20万人目のお客さんを迎えました。20万人目となったのは兵庫県の柏原(かいばら)中学で人権学習に取り組むグループ。

ほっとねっとのメンバーもこの‘ギリ番’の瞬間を見守りました。クジで20万人目を引き当てた2年生の足立君は「自分もいじめにあった経験がある。差別やいじめをなくすことを学びたい」と話していました。

今後も、単に部落解放運動の歴史を知る、というだけでなく、自治体合併の流れや混沌とした社会状況など、今と似た状況の中での先人の「まちづくり」に学ぶ、という視点を持ちつつガイドをしていきたいと思ひます。

水平社博物館では現在特別展として「解放令と



水平社運動」を開催中(8月31日まで)。

また18日(土)午後5時から博物館前の広場で「人権のふるさと柏原納涼まつり」が開催されます。さらに30日(木)午後1時半から水平社博物館展示委員・研究員の金井英樹さんによる講演『『解放令』と水平社運動』が博物館隣の柏原解放センターで開催されます。

興味のある方は博物館(TEL0745-62-5588)まで。

映画

六ヶ所村ラブソディー

先日起こった新潟県中越沖地震の影響で、柏崎原発が稼働をストップさせています。もし大事故になっていたとしたら…。あらためて原発の怖さを思い知らされた気がしますが、今回の参議院選挙では、このことはあまり話題に上らなかったようにも思ひます。

今の私たちや次世代の将来は持続可能なんでしょうか。今、改めて日本にある「核問題」についてともに考えてみませんか。奈良脱原発ネットワークが9月23日、ならまちセンターでの「六ヶ所村ラブソディー」上映を予定。そのための実行委員も募っています。詳しくは下記まで。

問い合わせ：〒631-0806

奈良市朱雀3-15-1-5-508(堀田)

TEL & FAX 0742-71-8795

e-mail:drahotta@ybb.ne.jp

(ストーリー)

2004年、六ヶ所村に原発で使った燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。この

工場の風下には豊かな農業地帯が広がっている。菊川さんは12年前からチューリップ祭りを開催し、再処理計画に反対し、くらしに根ざした運動を実践している。隣接した村々で農業を営む人々、特に有機や無農薬で安心、安全な作物を作ってきた農家もまたこの計画を止めたいと活動している。



一方、六ヶ所村の漁村、泊では職を失った漁師の雇用問題が深刻だ。村はずでに再処理を受け入れ、経済的にも雇用の面でも必要だという考えが行き渡っている。

2005年、イギリスの再処理工場で事故が起きた。取材で見えてきたのは事故の影響よりも、44年間日常的に放出されてきた放射性物質の行方だった。

圧倒的な力と経済力に、普通の人々はどのように立ち向かっていけばいいのだろうか。その取り組みを、人々の営みをそしてそれぞれの選択を見つめてゆく。(公式HP <http://ameblo.jp/rokkasho/>より)

野次馬情報

場示板

●第52回あかおにシアター案内

上映作品：紙屋悦子の青春

あの『父と暮らせば』の黒木監督の作品。戦争への静かな抵抗をライフワークとした監督の遺作。

日時：8月11日(土)・午後2時～(111分)

場所：桜井西人権文化センター(近鉄大福駅から南へ約400M、国道165吉備交差点から北へ約100M) 参加費：無料(…なのに?あやつ?付)

主催：部落解放同盟大福吉備支部



●ていだ花会～現在そして未来・沖縄2007

日時：8月19日(日)13:00会場、13:30開演

場所：ならまちセンター市民ホール

参加費：2500円(当日3000円、高校生以下1000円・全席自由席)

上映：アニメ映画「対馬丸」/出演：まつだ文子と奈良琉球舞踊サークル松島会、琉球國まつり太鼓奈良支部、三線同好会ていだ花会/特別ゲスト：池田卓(シンガーソングライター)

主催：ていだ花会

後援：奈良沖縄県人会

チケット購入・問合せ先：ていだめ屋(TEL0742-35-1785)

●阿倍野ヒューマンドキュメンタリー映画祭

～日本でただ一つのヒューマンドキュメンタリー映画祭。26日はフォーク歌手・友部正人さんのライブあり～

日時：8月24日(金)～26日(日)

場所：阿倍野区民センター

参加費：1日限定入場料1500円(当日何度でも再入場可。学生、60歳以上、障害者手帳ありは1000円)・3日間継続入場料3000円(3日間何度でも再入場可。学生、60歳以上、障害者手帳ありは1500円)

主催・問合せ：阿倍野ヒューマンドキュメンタリー映画祭実行委員会事務局(TEL06-6170-3980、Email:info@abeno-hdff.jp)

※「子ども映画講座」同時開催!

●講演会「自殺予防の基礎知識」

日時：9月1日(土)14:00～16:00

場所：奈良県文化会館小ホール

講師：高橋祥友(防衛医科大学学校教授)

参加費：1000円

主催・問合せ：奈良いのちの電話協会(TEL0742-35-0050、FAX0742-35-0533)※申込みはTELまたはFAXで。

●連続講座「ユニバーサルなまちをつくる」第1回「性別」をマイノリティの視点で見てみたら?

日時：9月1日(土)14:00～16:00(開場13:30)

場所：生駒市図書会館(近鉄東生駒駅北へ700m)

講師：虎井まさ衛 参加費：300円(資料代)

主催・問合せ：生駒フォーラム(TEL0743-71-7700)、性と生を考える会(TEL090-9543-4978中田)

●平和に関する市民勉強会「正しい戦争はあるか」

日時：9月2日(日)13:30～15:30

場所：かしはら万葉ホール3F

問題提起：(仮題)「現代の正戦論」アメリカからの手紙「アメリカへの手紙」/柳沢有吾(奈良女子大准教授) 参加費：無料

申込・問合せ：TEL0744-29-0581(浜田)

●世界と子どもをつなぐプロジェクト・2007

～お米文化について学びます。いろいろなお米を使って料理をし、みんなでめずらしいランチを楽しみましょう。第2回スリランカ編～

日時：9月2日(日)10:00～14:00

場所：奈良市男女共同参画センター あすなら(JR奈良駅西口、ホテル日航奈良2F)

対象：小・中学生など 参加費：500円

定員：先着順20名(保護者の同伴可)

主催・問合せ：奈良NPOセンター「もうひとつの学び舎」事務局(TEL0742-20-5027、FAX0742-20-5028、Email:gengen@8.dion.ne.jp)

●人権のふるさと・柏原納涼祭り

日時：8月18日(土)午後5時～

場所：水平社博物館前広場(御所市柏原)

出演：ザ・NEW ROCK 民謡 天馬鈴若&その一味、地元中学吹奏楽部。空手演武。他にカラオケ大会、絵画コンテスト表彰式等。

詳細は<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

※水平社博物館では、8月31日まで第10回特別展『解放令と水平社運動』開催中。

HOT NET PRESS

2008.2.1 第66号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

●tel 0742-64-0015

●email hot-net@blnara.jp

●HPurl <http://www.blnara.jp/hotnet/top.html>

そろそろはじめないとね…

アースデイ (4月22日前後) にむけて

1月の末に、何人かの人達からそろそろアースデイの準備を始めないと、忠告された。

2月に入って焦り始め、やっと打ち合わせ会議の準備を始めたところだ。

ほっとねっとがひーとびーとの森を開設して6年。私たちは、明確にエコロジーのみを意図してこの森を始めた訳ではない。個人的には、エコロジーと人権の微妙な関係を意識しているのだ。一言で言えば、支配的な物質中心主義の価値観から離脱することによってしか、エコロジーと人権は実現し得ないと。そして、「持続可能な開発のための教育の国連10年(ESD)」が、単に自然環境保護のみならず、人間の社会をも含めて「持続可能」性と呼びかけたことに、なかなかやるな!と思ったのだった。

小難しいことはさておき、そうしている間に、ほっとねっとは田原本に菜の花畑をつくりはじめ

昨年のアースデーより



た。こんな作業、可能なのか?と

思える状況で、なんとなく菜の花が咲きそうに思えてきた。

アースデイ(SOUTH)は進まねばならない。

1回、2回と自然環境を考える人たちの交流を深めてきた。今年は少し内容的にも深めたい。「地球温暖化」がクローズアップされているし、具体的なテーマ設定が必要かな。全体で課題を確認してもみたい。障害者や高齢者など福祉に取り組む人々の参加を増やしたいなど。

そう思うならなおさら早い準備が必要なのだが、まだ初会議の日程をお知らせできない。メールやブログも駆使してお知らせし、自然環境保護への思いを集めて行きたいと考えているのでご協力よろしく。

春のイベントが 盛り沢山です!

春近し!3月の予定です。子どもたちの春休み頃に二つのイベントを企画しています。皆さん予定を空けておいてくださいませ。

①3月23日、奈良町のカフェ「由庵」で2回目の「外国人と学ぶ書道教室」開催します。前回は墨の原料である、膠(にかわ)についてのミニレクチャーもしましたが、今回はもう一つの原料である煤(すす)の集め方についてのミニレクチャーと、もちろん茶菓子つきです。

②3月30日、ひーとびーとの森で今年度最後のプレイパークを開催します。夏場に遊び学んだ川に再び入ります。来年度に定点観測できるように、アマゴを放流。この日は夏、秋の参加者の希望に応じて「釣り教室」開催します。今後も生物が育ちやすく、みんなも楽しく遊べるように、川と周辺の清掃もします。ご協力よろしく!

③田原本町の「ひーとびーとの菜の花畑」。この寒さで生育状況を心配しています。無事咲いて菜の花パーティができるように、2月後半か3月前半に除草と追肥作業を行います。メール版ほっとねっとプレスなどでお知らせしますので、ご協力お願いいたします。

格差社会と医療

映画「シッコ (SiCKO)」(マイケル・ムーア監督) を見る

アメリカでは今、大統領選挙に向けて候補者選びがヒートアップしている。特に民主党がヒラリーになるのかオバマになるのかに注目が集まっているが、どちらにしてもブッシュ共和党政権の進めてきた覇権主義の流れが変わるのかどうか、常にアメリカに追随してきた日本の政治指導者たちも注目しているところだろう。

その大統領選挙で多くの候補者が「国民健康保険制度の導入」を掲げ出した、という。火付け役になったのが、マイケル・ムーア監督の最新作「シッコ (SiCKO)」だ。1月20日に橿原で実行委員会によるシンポと無料上映会があり、参加した。

この映画は、世界の超大国＝アメリカの医療問題を描いたものだ。アメリカに皆保険制度はなく、民間の医療保険に入っていない人が4700万人。入りたくても入れないと言う厳しい生活を強いられている人々だ。6人に1人は無保険で、毎年1.8万人が治療を受けられずに死んでいく。アメリカの陰の部分だが、「しかしこの映画の主人公は、彼らではない」とムーアは言う。

スクリーンに次々に写し出されるのは、まぎれもなく医療保険に入っている人々だ。入っていても十分な医療が行き届かない現状。その中であこっているいくつもの悲劇…。払える金額によって、受けられる治療が変わる。高額な医療費がなかなか払えない。民間医療保険会社のネットワークにつながる医師たちが「必要なし」と判断すると、医療は受けられない。医師たちは会社の利益のためになかなか必要性を認めないし、認めない方が自分の給料がよくなる。あの「9・11同時多発テロ」の時に活躍した消防士たちでさえ、その時の後遺症で苦しんでいるにもかかわらず、アメリカの医療制度では救われない。なんとアメリカの宿敵＝キューバの病院で、彼らはようやく治療を受けることができたのだ。「これは他人事ではない、立ち上がらなければ、という作品にしたかった」というムーアの思いが、ひしひしと伝わる…。

一方、日本では、「皆保険、皆年金」制度だから、大丈夫？いや、そうも言っていられない、というのが映画に先立って行われたシンポジウムの

趣旨だった。パネラーには橿原市の保険医療担当課長、県医師会、県歯科医師会

の代表、それに民主党の国会議員。「日本でも矛盾は拡大している」ことが異口同音に訴えられた。

「皆保険、皆年金」体制が確立したのは1961年。しかし近年の少子高齢化時代を迎えて、急速に制度が揺らいている。年金の「加入記録問題＝消えた年金」はその象徴だが、医療の面でも高齢者の急増で様々な矛盾が出てきており、政府は増大する医療費を、地方や受益者に負担させる方向で動いている。すでに国民健康保険の滞納世帯は480万5582世帯(06年6月)。もうすぐ70～75歳の自己負担は2割になる。「介護保険法」は高齢者を多く抱える過疎のムラほど負担が大きく、「老人保健法」を引き継いだ「高齢者医療確保法」ができて、75歳以上の「後期高齢者」は県単位で「広域連合」を作って面倒をみる、という体制になる。

気になるのは、「格差社会」「自由競争至上主義」の中で、「自己責任」の名のもとに弱者切り捨ての風潮が強まっているように感じられることだ。「他人の医療費をなぜみなければいけないのか」。「高齢者が多い地域は医療費の負担が大きいから、住みたくない」。こんな空気がいっそう広がって、今のアメリカのようになるのではないか…。

危機を乗り越えるためには、流れをかえる必要がある。昔から「苦しい時はお互い様」「支えあってこそ」と近所で助け合って生きてきたではないか。大震災の時には、そんなボランティアがいっぱいたったのではないか。そういう思想こそ、「国民皆保険・皆年金」体制を確立し、維持してきた基本的な価値観ではないだろうか。「格差社会」に歯止めをかけるために、まず「誰もが生きる権利を持っている」「助け合って共に生きる」という理念を、もう一度共通認識する必要がある。そしてそれは、「持続可能」な民主主義社会につながっている。



「菜の花プロジェクト」と 自立支援



移動の途中、菜の花畑に寄った。結構、葉が成長していた。この分だとたくさんの花が咲くだろう。と考えるのは素人考えか…。

『菜の花プロジェクト』は採算の合う事業なんですか〜?」。

最近特に、福祉関係者から聞かれるようになりました。背景には「障害者自立支援法」により、施設利用などのサービスに対する利用者負担が増えた、という事情があります。今は移行期で福祉の現場は混乱しており、関係者のみなさんは、今後3年間ぐらいの間に施設も利用者も何か経済的に成り立つツールを探していきたいと、真剣に模索しておられます。その一つとして「菜の花PJ」も検討している、と。

「障害者も地域に出て行きなさい」「働きなさい」。もっとはっきり言えば「働かない障害者は穀潰し」と言うのが「自立支援法」に見られる国の方針！（怒）。高齢化社会への対応で金がかかるので、これからは高齢者や障害者にも応分の負担をしてもらおう、ということでしょうか。しかし現状では、地域にいろいろは意味で受け皿がなく、とてもじゃないけれど、障害を持つ人やその家族が

安心して暮らせる現状ではない。困難を抱えた人たちの支援も視野に入れた活動をしているほっと

ねっととしても、このような問題について、一度真剣に考える場を持たなければと思っています。

最近環境省の推奨もあり地球温暖化対策のための地域協議会もたちあげられつつありますが、上記のような問題があちらこちらで浮き彫りになっている時、「持続可能な社会づくり」という観点からすれば、環境問題に特化した協議会であっても、CO2削減のことだけではなく、地域コミュニティの障害者福祉とリンクさせた議論も必要ではないかと思っています。

「どうか福祉を置き去りにしないでください!」。環境問題の解決に向けての話し合いの場でもお願いしていこうと思っています。



新たな飛躍を期して

新年会で夢を語り合いました

1月15日、奈良市三条通の「さくら水産」でほっとねっとの新年会を開催しました。毎年恒例になっている年末のワークショップと懇親会

が昨年は日程の都合でできなかったため、「年明けにせめて懇親会の部分だけでも」というリクエストがあり、開催にこぎ着けたもの。

当日集まってくれたのは、ワークショップにこの人あり!の「レギュラーメンバー」や、ほっとねっとが日頃お世話になっている人たち約20人。

実に多彩な顔ぶれで、その思いに共通するもの

はあるにしても、活躍の場はさまざま。人生の転機を迎えている人あり。うんざりするほど大きな課題に取り組んでいる人あり。年齢も子ども、ティーンエイジャー、学生という若手?から50代までさまざま。

「ひとことメッセージ」では、心臓疾患発症時の救命装置「AED」の普及を訴える人。締切迫る、県の廃棄物対策に対するパブリックコメント発信を促す人。ゲストハウスの開設準備のための協力を呼びかける人とバラエティ豊か。即興のぬいぐるみショーで盛り上げてくれる人もいて、気がつく、あっという間に3時間が過ぎていました。

参加者の皆さん、ありがとうございました!今年もよろしく。頑張りましょ〜。

野次馬情報

場示板

●第58回あかおにシアター

作品：陽はまた昇る
 (佐々部 清=監督 / 2002年公開作品)

日時：2月9日(土)
 午後2時～(106分)
 場所：桜井西人権文化センター
 主催：部落解放同盟



大福・吉備支部

参加費：無料(…なのに?あやつ?付)

●「TO(ゼロ)からの風」上映会

※「ミニ・生命のメッセージ展」同時開催

日時：2月8日(金)、9日(土)

- ① 10:20～ ② 13:00～
 ③ 16:00～ ④ 19:00～

(9日の19:00からの上映はなし)

場所：秋篠音楽堂(近鉄西大寺駅北口下車、ならファミリー6階)

入場料：一般 1000円

主催：NPO法人奈良芸能文化協会

問合せ：NPO法人KENTO

<http://kento.holy.jp/about/>

(児島 Email:kento_net81@hotmail.com)

●かき餅編み体験ワーク

～昔懐かしのスローフード。エビ、ゴマ、しそ、青のり、豆、シナモン他いろんなオカキ作り

日時：2月10日、11日 10:00～15:00

(途中からの参加もOK)

場所：NPO法人青少年自立援助センターブルーム

http://www.geocities.jp/vsc_bloom/

わくわく館(大和高田市旭南町1-40)

参加費：無料※昼食持参のこと

問合せ：ブルーム(TEL050-1272-6918)

●自然体験講座「早春の明日香路で自然観察」

日時：2月17日(日) 9:30～14:00

場所：明日香の里・甘樫丘周辺

(集合：近鉄橿原神宮前駅東口前の公園)

準備物：動きやすい服装、昼食、飲み物、
 筆記用具、雨具

主催・問合せ：奈良県環境県民フォーラム

(TEL:0742-27-8732、FAX 0742-22-1668、

Email:nodamatakayuki@office.pref.nara.lg.jp)

●第4回奈良環境パートナーシップ交流大会

～地域の環境パートナーシップで
 循環型社会を目指そう～

日時：2月24日(日) 13:00～17:00(12:30～受付)

場所：奈良市生涯学習センター

定員：40名

内容：事例紹介「循環型の社会を目指して」/「菜の花畑からの資源循環」/「企業の取り組み・住宅の資源、エネルギー循環の仕組み」/ディスカッション「パートナーシップで循環型社会をつくろう」/交流会「環境パートナーシップ交流大会」

主催：きんき環境館、NPO法人奈良県民環境ネットワーク

共催：NPO法人奈良環境カウンセラー協会

申込方法：氏名、所属、連絡先をご記入の上、FAXまたはE-mailにて、下記へ申込のこと

申込・問合せ：・きんき環境館(TEL:06-6940-2001、FAX:06-6940-2022、E-mail:office@kankyokan.jp)・NPO法人奈良県民環境ネットワーク(TEL/FAX:0742-24-0080、E-mail:eco@nara-kankyo.net)

※2月20日(火)～24日(日)まで、奈良市生涯学習センター1Fにて、環境団体の活動展示会を同時開催

●農地いきいきサポーター第3回研修会

日時：3月8日(土) 9:00～12:00

場所：奈良県農業総合センター内 農業交流館(橿原市四条町88)

内容：春夏野菜の作り方、サポーター情報交換等

対象：農地いきいきサポーター登録団体

(登録予定団体含む)

申込方法：郵送、FAX、Emailのいずれかにて29日までに申し込む。

申込・問合せ先：奈良県農業協同組合担い手・遊休農地対策室(〒630-8131奈良市大森町57-3、TEL:0742-27-4309、FAX0742-27-4406、Email:ninaite@ja-naraken.or.jp)

HOT NET PRESS

2008.1.1 第65号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

●tel 0742-64-0015

●email hot-net@bllnara.jp

●HPurl <http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html>

謹 賀 新 年

新年明けましておめでとうございます。

ある学者が、「今の日本は格差が固定化されるかどうかの岐路に立っている」と言うのを聞き、昨年末からの「格差社会」という言葉がますます気になってました。

ワーキングプアやネット難民、ハケンなどの言葉が流行語大賞にノミネートされ、一方で最後のセーフティネットたる生活保護認定に関わる行政対応に弁護士会が取り組みを開始しています。

いつかはドロップアウトして、低収入・低支出の自給自足的スローライフをしたいと夢想する私にとって、一度失敗すれば這い上げられない格差社会は非常に辛いものなのです。

競争から降りることを許さない、即ち多様なライフスタイルを許容できない社会は、反人権的であるばかりでなく、アンチ・エコロジーな社会であると考えています。

私たちほっとねっとは、人権と環境問題の接点で活動を展開していますが、今年はちょっと頑張る必要があるな、と思っているのですが…。

新年のご挨拶に代えて。(理事長 伊藤 満)



ほっとねっと「新年のつどい」

年末恒例のワークショップと懇親会は、諸般の日程が重なり、開催できませんでした。問合せをいただいた常連メンバーの皆さん、すみませんでした。かわりに、下記のとおり「新年のつどい」をやります。大いに夢を語り合ひましょう。

日時：1月15日(火) 午後6時30分～

場所：さくら水産(予定/JR奈良駅徒歩2分、三条通りを東へ100mほどあるいて北側)

参加費：2000円※参加希望者は前日までに電話で連絡してください(0742-64-0015)。

映画「シッコ」無料上映会



日時：1月20日(日)

①10:00～ ②13:30～

③17:00～※3回めはパネルディスカッション後上映

場所：橿原シネマアーク(近鉄八木駅下車、北へ50m、ふじビル横)

主催：「シッコ」上映委員会

サブタイトルは「テロより怖い医療問題」。「華氏911」「ボウリング・フォー・コロンバイン」などのドキュメンタリー映画で有名なマイケル・ムーア監督の新作「シッコ(SICKO)」は、アメリカの医療の現状を描いたものだ。ところが関係者によると、これは「アメリカのこと」と済ませるわけにはいかない問題らしい。医療改革が進められてつつある日本でも、すでに深刻な事態が生じており、映画で告発されているのは明日の「日本の姿」というわけだ。このままではアブナイ。橿原で、この映画の無料上映会とパネルディスカッションが行われる。是非御参加を。

「外国人と学ぶ書道教室」

国際化とモノづくりと 日本文化の再発見



12月8日、毎週月曜日にパソコンフリースペース、月に2回英語フリートークを開催させていただいている、カフェ「由庵」で「外国人と学ぶ書道教室」を開催しました。参加者は少人数でしたが、新聞やインターネットでの告知を見て、外国人と交流しながら学ぶことや、講師の書道文化へのこだわりを楽しむ趣旨に興味を持って応募してくれた人ばかり。

肝心の外国人参加者は、急なキャンセルなどが相次いで、たった1人という寂しさでしたが「5年前に日本に来て以来、ずっと書道を習いたいと思っていた」とのことです。初体験をとっても喜んでいただきました。

まず初めに新品の筆の下ろし方から。次に硯への水の入れ方から墨のすり方についてと先生のこだわりどころを基本から丁寧に教えてもらいました。先生によると、硯職人は指で数えるほどしかいないのだとか。先生は関西在住ですが、硯を買ったり磨いてもらうとなると、わざわざ東京・浅草のご最良の店に行くそうです。このお店の硯職人さん、こだわりぬいた伝統の技を継承されて

いる上に、若くてとてもイケメンなのだとか(*^o^*) 興味のある方はインターネットで「宝研堂」で検索してみてください。書道具に関する技や浅草についてわかって面白いです。

また1本の筆を末永く使うためには、墨液を使うよりは墨の方がダンゼンいいのだとか。合成のりが使われている墨液だとすぐに筆がいたんでしまうのに比べ、動物性の脂である膠を材料にする墨を使い込むと筆がなじんでくるといいます。先生の場合、やむなく使う場合の墨液は、膠(にかわ)入りのものにするそうです。

膠は、かつては水平社博物館のある御所市柏原などが産地であり、全国シェア90%以上を誇る奈良県の墨生産を支えていたといえます。ティータイムの時には、先生のお話を踏まえつつ、博物館から借りてきた膠の現物をお見せして、膠のできる工程もごく簡単に説明してもらいました。

最後に、思い思いに書いたお気に入りの一文字を発表してもらいました。講師の木原静光先生からは「逢」の字をいただきました。

書道を外国人との交流に役立てたい、書道具の素材の良さをも伝えたいとの先生の思いと、多様なコミュニケーションの機会づくりと、「モノづくり体験講座」開催などを通して部落解放運動をも支えた奈良の伝統産業の再認識を大事にしてきた、ほっとねっとの思いの「出逢い」によって開催できたミニ講座であったと思います。

今年も様々な「逢」を期待しています。

※「なら・シルクロード博記念国際交流財団」の助成を受けて開催しました。

「葉の花」プロジェクトだより

なんとか花を咲かせたい！

種の直播から2ヶ月あまり、苗の移植から1ヶ月あまりたちました。

肥料の鶏糞が効いているせいか、直播したところはとても元気に育っています。手入れがしやすいように、まっすぐ撒いたつもりなのに、整然と並んで発芽してないです。ものすごい勢いで群生してるところもあります。それを空いてる場所に植え替えたり、草引きの作業を続けています。移植すると根が弱るのか、とたんに元気がなくなってしまうのですが、群生を放っておいたら最終的には共倒れになってしまうだろうし…、という葛藤

のなか、どうか無事に育って、春には黄色い絨毯を見せて！と祈りながら、不定期に、ほんのわずかずつですが手入れしていきま



手が届いて、いよいよ正念場になってきました。1月から1週間に1度は草引き、水やり、追肥、排水の溝づくりなどの作業をしてなんとか花咲かせるころまでいきたいと思います。

1月は毎週水曜日の午後から、2月は毎週月曜日の午後から無理のないペースで作業をしています。お手すきの方はご協力よろしく！

「出会い」「つながり」「元気」の循環で

夢のあるまちづくり

「まちづくり」経験交流会というのに参加してきました。

和歌山、福岡、大阪でそれぞれ取り組まれている実践報告を聞きましたが、中でもおもしろいな～、と思ったのは大阪・箕面市萱野地域のまちづくり実験。パワーポイントを駆使した盛り沢山の報告だったので、実際に聞いてみないとあの面白さはなかなか伝えられないと思いますが、ちょっとだけ紹介してみたいと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

端的にまとめるとすると、自治会をはじめ地域の主要な団体で構成する「まちづくり協議会」が中心になって、「出会い」「つながり」「元気」を循環させながら、「イベント」「情報マッチング」「拠点づくり」「おたがいきま」「チャレンジ」の5つの取り組みを地域ぐるみで推進している、ということになるのでしょうか。こんなふうにまとめてしまうと、報告してくれたMさん（まるで吉本のお笑い芸人？）や、プレゼンに出てくる人々のエネルギーと笑顔を台なしにしてしまっているような感じで、とにかく楽しそうなんです。

出会いを仕掛ける「イベント」では「地藏盆まつり」や「昔なつかし映画会」「ごっとう市場」など。仕掛け方がまたうまい。「地藏盆祭りに行くと、恋愛が成就する」という「うわさ」を流して、いつのまにか外の地域からも若者がいっぱい集まるイベントにしてしまったり、自慢の家庭料理「わてとこのごっとう」をレシピ本にして、出版お披露目をかね、料理をふるまうイベントをしたり。

太鼓。電飾アート。配食サービス。デイサービス。移送サービス…。活動のキーワードは「持続可能」「顔の見える関係」「誰でも参加可能」「自由な手段」「住民主導」「相互扶助」「ユニーク」。

「自分たちのまちは自分たちが守り発展させる」「お互い様、助け合いの心で生活に密着した暮らしづくり」を基本的なビジョンとし、子どもからお年寄りまで、周辺の公共機関や学校、ボランティア団体、NPO、そして企業も巻き込んでの展開。「芝楽」という地域通貨やコンテナを利用したチャレンジショップの試みなども含めて本当に夢のある

大阪・箕面市

ここの祭りに参加したら恋愛が成就すると評判の「地藏盆まつり」



地域通貨「芝楽」。喫茶店やリサイクルショップ等で使える

活動をしてはります。これからもっともっと地域資源や人材の発掘、情報収集・発信・マッチングを行って、コミュニティケア、コミュニティビジネスも興し連携しながら「安心して暮らし続けることができるまち」「活力ある魅力的なまち」「『ゆめ』の実現ができるまち」に向けて取り組みたい、とのこと。ちょっとした発想を形にしていこうと、こんないろいろなことができるのか、と驚かされました。

ここでも以前は、高齢化や中堅所得層の流出で地域活力の減退が顕著だった、それを何とかしようというところから出発した、というのですが…。Mさんら、取り組みの中心にいる人たちの苦労は想像を絶するものがあったと思うのですが、そんな苦労も笑いにかえて、むしろその過程で生じることが楽しおかのように活動しておられる姿にも感動しました。

様々な社会矛盾が顕著になってきている今日。弱者切り捨ての競争社会・格差社会に与するのではなく、地域で助け合ってもともに生きる社会こそ、私たちがめざす姿だと思うのですが、その共生コミュニティのモデルを、また一つ見つけた、そんな思いがしました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「実際に地域に来てくれたら、もっといろいろ紹介しまっせ～」とMさん。吉本新喜劇を見に行く感覚で、現地見学会を企画してもいいかもしれないな～、と思いました。

詳しい情報は、ここにあります。是非一度御覧ください。→<http://www.hcn.zaq.ne.jp/kurashi-net/>

野次馬情報 場示板

●第57回あかおにシアター

作品：パッチギ！ LOVE & PEACE

(井筒 和幸 = 監督

2007年劇場公開作品96分))

日時：1月12日(土)・午後2時

場所：桜井西人権文化センター

参加費：無料 主催：部落解放同盟大福・吉備支部



●2007年度人権啓発養成講座

日時：1月13日(日) 13:30～15:30

場所：かしはら万葉ホール

(近鉄橿原線畷傍御陵前駅より3km)

テーマ：「現代人の“心の病”をみる

～自己実現への光と影～

講師：香山リカさん(精神科医、帝塚山大学人間文化学部人間学科教授)

定員：800名(定員になりしだい締切)

*託児については事前に連絡を。

問合せ：(財)奈良人権・部落解放研究所(TEL0742-62-5179、E-mail:nakama@pearl.ocn.ne.jp)

●環境シンポジウム

日時：1月20日(日)14:00～(開場:13:30)

場所：生駒市中央公民館サンホール

テーマ：温暖化地獄！岐路に立つ地球！

ー“生駒発”脱温暖化のシナリオを探せ！ー

第1部:基調講演 温暖化地獄からの脱出ー待ったなしの地球温暖化対策ー(山本良一さん)

第2部:パネルディスカッション 脱温暖化に向けてー地域で！みんなで！はじめよう！ー

コーディネーター：楢村久子さん(京都女子大学教授)/パネリスト：遊津隆義さん(奈良県地球温暖化防止活動推進センター長)、山下真さん(生駒市長)、藤尾庸子さん(生駒市健康づくり推進員連絡協議会代表)、森務さん(北田原工業会会長)

参加：無料 問合せ：生駒市環境管理課(TEL0743-74-1111、FAX 0743-74-9100)

●市民のための市民による「福祉市民塾」

日時：1月20日(日) 13:30～15:30

場所：Nネット(近鉄奈良駅下車、やすらぎの道北へ徒歩5分)

テーマ：「地域創造(福祉のまちづくり)と平和学

習～今年のアナタのゆめ・ゆとり・ゆうき～」

話題提供：桂良太郎(福祉市民塾呼びかけ人代表)

対象：福祉活動に関心のある方

参加費：学生無料、一般500円、Nネット会員300円

問合せ：ソメカワNネット(〒630-8253 奈良県奈良市内侍原町8-202、TEL0742-26-6963、FAX0742-26-6964)

●介護保険学習会

日時：2008年1月26日(土) 13:30開場

場所：大和郡山市三の丸会館

内容：後期高齢者はほぼ確実に何らかの介護を利用する世代でもあり、この新しい制度と介護保険制度を地域包括ケアの視点から検討

定員：150名(先着順)

参加費：自治研センター会員無料、一般1000円

申込先：FAX：0742-50-2085、E-mail:nara-jichiken@vega.ocn.ne.jp

申込み締切：1月23日

<プログラム>

14:00～講演「後期高齢者医療制度の概要と課題」

15:30～シンポジウム「医療と福祉の連携をどう考えるか」コーディネーター・澤井勝さん(奈良女子大学名誉教授)シンポジスト・林法夫さん(奈良県長寿社会課課長補佐)、中島孝之さん(中島医院医師)、川瀬政幸さん(医療法人健和会専務理事)

主催：奈良県地方自治研究センター・介護保険研究会(問合せ：奈良県地方自治研究センター/TEL0742-64-1005 大浦)

●ファミリーコンサート

日時：1月26日(土) 13:30～15:00

場所：奈良町物語館

内容：モンゴルの民族楽器の演奏と交流会

出演：ソルトさん、チチグさん

参加費：500円 定員：50名(申込受付中)

問合せ：特定非営利活動法人宙おおぞら塾(TEL0742-24-1618、FAX 0742-24-2258、E-mail:ohzora@muse.ocn.ne.jp)

●ふれあい人権ひろば

日時：1月26日(土) 10:00～14:30

場所：ならファミリー内1階

らくだ広場(奈良市西大寺東町2丁目4-1)

参加費：無料 問合せ：奈良県人権施策課啓発推進係(TEL0742-27-8719)

HOT NET PRESS

2006.7.1 第47号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと
 奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満
 ● tel 0742-64-0015
 ● email hotnet@blnara.jp
 ● HPurl <http://www.blnara.jp/hotnet/top.html>

06年度定期総会 やいしました！

今後の活動充実へ さらに御支援を！！

ほっとねっとの第5回総会は、6月16日の午後6時半より橿原市の県社会福祉総合センターで開催。05年度の事業、会計、監査報告、06年度の事業計画、予算案が提案、承認され、今年も無事に？総会を終えることができました。

2002年の設立総会からはや5回目を数えますが、形式的なことだけでなく、今年も各事業ごと、実際に取り組んでいるメンバーから意見を聞かせていただく場として、また今取り組んでいることの意義を全体で確認したり、これからの夢を話しあう場として、貴重なものとなりました。

特に今年度予定している『コーディネータ、ファ

シリテータ養成講座』『若者e場所づくり』に積極的にかかわりたい」という嬉しい発言や「ガイド同士が交流・学習する機会をもってほしい」という提案を受け、今年度も元気に活動していくことをみんなで誓いました。

終了後は、先日4月23日のアースデイのうちあげもかねて、親睦会も開催。ワールドヒューマンブリッチ他、当日スタッフのメンバー数人も加わって、にぎやかに交流しました。

というわけで、2面に総会での報告&計画の概要を掲載します。また、今年度の会費納入についても宜しくお願いします。(詳細は2面)



「光のバトンタッチ」を上演

劇団「ひーとびーと」

●7月8日(土) 13:00～

御所市民会館

●7月29日(土) 13:30～

香芝市ふたかみ文化センター

※いずれも入場無料

7月は「差別をなくす強調月間」。劇団「ひーとびーと」が御所市と香芝市の市民集会で、「光のバトンタッチ」を上演します。

劇団「ひーとびーと」は、02年、演劇という表現活動を通じて人権問題を訴えようと立ち上げられた劇団で、「ほっとねっと」と共通のメンバーになっている人も多く、ともに学びあい連帯する関係にあります。これまで地道に練習や上演活動を行ってきた思いや情熱が、今回の上演につながりました。

テーマは結婚差別。現実の社会でも起こっている問題です。この機会に是非御鑑賞ください。

(ストーリー)

結婚話を機に初めて部落出身であることを知った主人公玲子。その動揺や苦悩、彼女を気遣う家族模様。「部落」とは何なのか。そしてそれをどのように次代に伝えていけばいいのか…。

いっしょに考えてみませんか？

ほっとねっと 2006 年度総会議案

<2005 年度の事業報告>

(1) 人権のためのIT 推進

- ①従来に引き続き桜井市、三郷町、五條市などで、パソコン教室を開催。「ワード」「エクセル」などの初級の内容から、デジカメなど応用的なテーマへの発展が見られる。
- ②団体やサークルなどで開催するパソコン教室を依頼されるケースも出てきた。
- ③インストラクターとして関わるメンバーの掘り起こしや、新しいニーズに対応するためのスキルアップが必要。

(2) 人権研修

- ①ワークショップ人権研修の手法を研究し、広めるために、06年度の「県とNPOの協働事業」に応募し、採択された。
- ②また、年末には恒例のワークショップ人権研修合宿を開催。06年度の協働事業も意識しての開催とし、新しいメンバーの参加も得て開催。
- ③今年度の事業実施へ、宣伝と参加者掘り起こし、具体化を通じたいっそうの深化、進化を。

(3) ボランティアの訓練・派遣

- ①引き続き、水平社博物館のガイドを実施(館内117回、フィールド92回)。好評を得ている。
- ②ガイド養成講座を昨7月、今4月に開催。大学生の自主的な参加なども出てきているが、講座自体が中途半端になり、終了できていないメンバーも。その後のフォローが必要。

③ガイド同士の学習と相互交流の場の設定を。

(4) 子どもの遊び場づくり(「ひーとびーとの森」)

- ①「ひーとびーとの森」にて、恒常的に「プレイパーク」を開催(文部科学省「地域子ども教室」事業)。高校・大学生のボランティア管理人体制を作って対応。
- ②ガイドブック「関西お手軽アウトドア」に掲載されたこともあり、問合せも増加。
- ③今後は地元との一層の連携、活動計画や見通しをしっかりと立てること等が必要。

(5) その他

- ①県主導で「なら人権相談ネットワーク」が立ち上げられ、ほっとねっとからも参加。人権相談に関わるノウ



水平社博物館のガイドは、年間200回を超え、のべ4000人以上を案内した

ハウを相互交流した。

- ②夏休みに、子ども向けの企画として「人権のモノづくり体験講座」(子ども夢基金助成事業)を実施。被差別マイノリティと産業・生活・文化という視点で人権教育・啓発手法開拓に取り組んできた。今後もこの分野での取り組みを広げていきたい。
- ③「HotNetPress」を毎月発行。また、HPのリニューアルやメルマガの発行も含め、ほっとねっとの動きを伝え、会員相互の連帯と情報の共有化をはかってきた。
- ④「持続可能な開発のための教育の10年(ESD)」も、大きなイベントとしての取り組みはできなかったが、機会をとらえての展示やパンフレット配布をおこなってきた。
- ⑤WHB(ワールドヒューマンブリッジ)や奈良ネイチャーネット、NOLA、国際子ども交流館、奈良県環境ネットワークなどNPO同士のネットワークが広がっている。協働で取り組んだ事業として、「センスオブワンダー講演会」「自然フェスティバル」等。今年度に入ってから「アースディならSouth」にとりくんだ。

<今後の課題・計画>

- ①06年度は、従来からの「森」「IT-PC」「ワークショップ」「博物館ガイド」に加え、「人権啓発教育コーディネータ、ファシリテータ養成講座」「若者のe場所づくり」に助成金を得て取り組む。
- ②また、「人権相談」にも本格的に取り組む。さらにESDも本格的に。そして、これまで培ってきたノウハウを生かしながら、地域レベルでの課題の解決を展望し、これからの時代を担う若手の人材養成に努める。
- ③もちろん、従来からの事業についても現状をふまえて、よりパワーアップできるようにしたい。
- ④様々な取り組みについて、メンバーが相互に交流・意見交換するような場の設定が必要。HPやブログの利用を。(以上、要約して紹介しました)

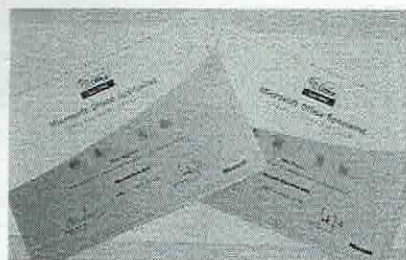
梅雨の森(理事長のブログより)

7月2日朝からの雨が少し弱まったのを見計らって、ひーとびーとの森に。今年はなかなかみんなが集まる機会がないのですが、森には代わる代わる人が来ているようです。

作業日記から、Tさんはデッキをもう完成して、そこに登る小道の整備にかかっていることがわかります。畑にはFさんが植えたと思われるミニトマトとト

ウガラシ、枝豆が実をつけはじめています。Uさんが進めているのか、木を切って河原に広場がつけられようとしています。

梅雨の時期、たくさんの雨を受けて、草木は一斉に伸びています。鎌を手に森を歩きまわりながら、歩きにくい所だけ草を刈ったのですが、普段怠けているせいかすぐに手が痛くなりました。そのせいで、ウドの株やクルマミの新芽など、新たな発見ができました。



Microsoft Office Specialist 認定証。
まずは、この資格から！

「若者のe場所づくり」 始動しました

♣取りあえず、「若者のe場所」に

前号でお伝えした、日本郵政公社「年賀寄附金」の配分を受けて実施する「困難を抱える若者の支援事業」。どのような展開になるか、まだまだ未知数ですが、とりあえず、名前が「若者のe場所」に決まりました。パソコン講習や参加者同志の交流を深めるワークショップをベースに、気軽に若者が集える「たまり場」をつくりたい、との思いを端的に表す言葉はないか、とスタッフ間であれこれ知恵を絞ったところ、やはりいつも？のダジャレの線ということになり「居場所」→「いい場所」→「e場所」に。「e」にはeメールなど電脳空間という意味をはじめ、エコロジー、エモーション、エナジーやエクスプレス（言葉などで表現する）などがあふれる「いい空間」という意味をこめました。「e場所」のオープンに先立ってまず奈良市での説明会&相談会を6月23日と30日に県解放センターで行いました。

♣まずは一人から

1日目、参加者は1人。「e場所」のあり方について、希望を聞いたところ「出席を約束をしなければならぬ、というのではなく、気軽に立ち寄れて、話を聴いてもらえる場所であれば行きたい」とのこと。また、この説明会・相談会の宣伝のために配布したチラシについて「あまりに漠然としすぎていて、何をするのかかわからない。もっとはっきりと何をやるか書かれてあったほうが人が集まりやすいのではないか」との意見もいただきました。

♣SAKIWAIさんにも御協力頂き…

1日目の反省点などを踏まえて、2日目の30日までの間に考えておくこと、やっておくことはないが、ヒント・助言を求めて奈良市内で開設されているフリースクール「SAKIWAI」にお邪魔しました。「SAKIWAI」では、中学・高校時代の若者のためのフリースクールだけでなく、「若者のほっとスペース」という、10代後半以上の人対象のフリースペースも開設されています。代表の大谷さんからは「若者のほっとスペース」がフリースクールを支える親の会の「もうちょっと上の年齢の若者の集える

場所を」との要望で始まったこと。今の参加メンバーの3分の2がホームページを見たのをきっかけに来ていること。当初月に1回開催していたが、ニーズが高まり今は月に2回開催していること。開催日には、基本的にいつ来ていつ帰ってもよく、何をしても、しなくてもよいというやり方の中で自然に参加者相互で相談しあい、情報のやりとりをして、食事の準備も自分たちでするなど相互に助け合う場になってくること—などをお聴きしました。

♣パソコン資格対策+フリースペースで

これらのことを参考にしつつ臨んだ2日目の30日。かけつけてくれた「SAKIWAI」のスタッフの方とともにこの日の参加者2人とじっくり話し合いの時間をもちました。その結果、事前申込などの形で必ずしも参加を見込む、というものではないけれど定期的に「e場所」を開設すること。内容に、就業に役立つ定番の資格試験「マイクロソフト・オフィススペシャリスト」受験対策のパソコン講習を盛り込みつつ、フリースペースとするという方向で当面は運営していくこととしました。

奈良市での第1回めの「e場所」は7日（金）午後1時～4時、県解放センター1階図書室で。それ以降の日程についてはホームページなどで告知するほか、希望者にその都度メールなどでお知らせすることとします。中・高校生対象に地域で学習支援を続けているスタッフからは「具体的にになりたい職業がありながら、さまざまな事情で希望がかなわず、毎日をもてあましている高校卒業者の支援ができないか」などの意見も出ています。このような要望にも寄り添える事業を展開したいと思っています。

♣宇陀市でもスタート

また、宇陀市榛原榛原総合センターでも、同じ7日の午後5時より説明・相談会を行います。基本的に同じようなコンセプトにたちながらも、参加者の意向を聞きつつ、宇陀市での継続的な取り組みを行って行きたいと考えています。

試行錯誤しながらの取り組みになりますが、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

野次馬情報

掲示板

●地域ケアを考えるフォーラム

誰もが住み慣れた地域で、普通に暮らせるまちづくり。介護保険、年金、医療等諸制度が大きく見直される中で、地域共生社会への取り組みが求められています。富山での先進事例に学びながら、これからの方向を考えようというフォーラム。

日時 7月16日(日) 13:30～16:30

場所 県社会福祉総合センター5F

内容 基調講演元気が出る家「あらとこ」の実践
講師NPOあらとこ代表 野入美津恵さん
パネルディスカッション

主催 なら地域ケア研究会

後援 県、奈良NPOセンター

申込み・問い合わせ 0742-64-1431

yagifukushikai@tiara.ocn.ne.jp

●サービス利用者と市町村担当者の合同学習会 Part II ～やっぱりあかんで！自立支援法～

とうとう4月から障害者自立支援法が一部施行されましたが、現場では相当困っているのでは？

あらためてみんなで知恵を出しあって、何とか地域で暮らす道を考えようではありませんか。

日時 8月24日(木) 13:30～16:30

開催場所：いかるがホール 2階 小ホール

アクセスはこちらを参照↓

<http://www.town.ikaruga.nara.jp/ikaho/>

参加費：200円(資料代)

主催：奈良県「障害者」運動ネットワーク

問合せ：同ネットワーク事務局(0745-72-1923)

●不登校を語る親のフォーラム

不登校に関わる諸問題について、語り合い、相互のつながりの場を提供するとともに、かかわり方について考えます。

日時 7月22日(土) 12:45～16:15

場所 奈良県社会福祉総合センター

橿原市大久保町(畝傍御陵前駅下車)

テーマ 「不登校を語る親のフォーラム～心のキャッチボール」

対象 県内小中高校生の保護者および教育関係者

主催 県・県教育委員会

●人権教育シンポジウム

これまでの人権教育の推進について、成果と課題を整理し、さらなる人権教育の深化・充実を図ることを目的にシンポジウムを開催。

日時 7月19日(水) 13:00～16:30

場所 奈良県立教育研究所大講堂

磯城郡田原本町桑庄22-1

テーマ 「今求められるもの～より確かな人権教育をすすめるために」※県立榛生昇陽高校ボランティア部による手話コース、寺澤亮一さん、阿久澤麻理子さんによる人権トーク

対象 県内教育関係者

主催 県・県教育委員会

●ボランティア養成講座・「子どもたちの安全な環境づくり」

子どもを守るために、いま私たちにできることを具体的に学びます。

日時 7月14日(土) 9:30～11:45

場所 かしはら万葉ホール5階ホール

橿原市小房町11-5

内容 「子どもの命を守るために、いま私たちにできること」

講師 横矢真理さん(子どもの危険回避研究所)

主催 奈良県児童館協議会

(TEL: 0744-22-5357 FAX: 0744-22-9711)

●杏・人権を考える集い ～ハンセン病を考える

花の寺として有名な奈良市の般若寺からすぐ南にある北山十八間戸(きたやまじゅうはちけんど)。奈良市の杏文化センターでは下記のとおり、ハンセン病について考える学習会を開催します。

日時 7月12日(水) 19時～20時30分

場所 奈良市杏人権文化センター

奈良市杏町401-1(0742-61-2029)

講演 「ハンセン病を考える」

講師 松田好則さん(東之阪児童館)

●7月＝差別をなくす強調月間行事

各地で様々な人権に関する取り組みが…。とてもココでは紹介し切れません。詳しくは県のHPを御覧ください。

<http://www.pref.nara.jp/jinken/kyocho/kyochoten>

HOT NET PRESS

2006.6.1 第46号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

● tel 0742-64-0015

● email hotnet@bllnara.jp

● HPurl <http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html>

5年目へチャレンジ!

06年度総会 6月16日に開催!

12年に設立総会を行って以来、はやいもので今年で5回目の総会になります。

これまでの取り組みの中で、他のNPOとの付き合いも広がり、新規事業の立ち上げ等も行って、それなりに実績・成果もあげてきていると自負しています。ただ、一方でマンネリ化や将来への見通しがあいまいな部分もあります。

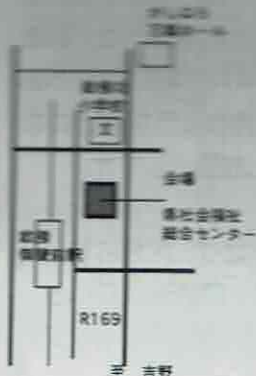
今年度はちょっと大きな事業も予定しており(2面参照)。

日時 6月16日(金)
午後6時30分~8時
場所 県社会福祉総合センター

今後の展開のためにも、ここで、現状と課題の整理が必要です。

総会では、事業報告、会計報告、活動計画、予算等について協議することになってはいますが、そうした形式的なことばかりでなく、皆さん方からの率直で積極的な御意見をいただきたいと思ひます。

また、終了後は懇親会で交流し、ざっくばらんな会話の中から、よりよい方向を見出していきたいと思います。是非とも御参加下さい!



「森」の近況 (森の管理人のブログより/by 理事長)

昼飯の材料を買って、11時すぎにひーとびーとの森に着いた。土曜日の森は誰も来ていない。

火をおこし、湯を沸かして昼飯をつくる。といっても、葱を刻み、生姜をおろすだけで、これを水煮缶の鯖と混ぜ、醤油と七味をかける。これを釜揚げのうどんに絡めて食べる。以前釣り雑誌で、岐阜徳山村の伝統料理と紹介されていたものだ。鯖の水煮缶を使う時点で、伝統料理というのは眉唾だが、手軽でうまいので時々作る。(…)うどん2玉を食べ、釜揚げの湯でつゆを薄めて飲む。一本残しておいたうどんを細かく刻み、池の金魚にやる。余った葱は鉢に植えておいた。

今日は川の対岸に生えているワサビを少し採り、森の水源に植えることにする。生えているワサビはほんの少し。枯らさないよう慎重に3株ほ

ど探る。

急いで水源まで登り、水の湧

き出ている付近に3箇所に分けて植えつけた(写真)。水の具合いや土がワサビに適しているかどうか実験するつもりだ。ワサビが増えたらうれしいなあ。(…)鹿の動きも活発なようで、あちこちに新しい足跡がついている。いずれライブカメラで鹿の様子を観察できるようにしたいが、いつになることやら。

Tさん製作のデッキは後、塗装を残すのみ。Fさん、Uさんも森のあちこちで作業の形跡を残している。もうすぐ木苺が実ってくるので、みんなが集まるイベントを計画しよう。

二つの新規事業に取り組みます！

御協力をお願いします

総会で、詳しく提案したいと思いますが、今年度は、二つの大きな事業に取り組む予定になっています。ひとつは、以前から断片的にお伝えしているものですが、県とNPOの協働事業として企画している「人権啓発・教育コーディネーター養成講座」。そしてもう一つは、日本郵政公社の「年賀寄付金配分事業」で申請していた「困難をかかえた若者の居場所づくり事業」です。

●「人権啓発・教育コーディネーター養成講座」の方は、これまで模索してきたワークショップ人権研修を、より体系的に学び、地域での人権研修のコーディネートや人権相談などもこなせる人材養成につなげよう、というものです。人権は「アタマで理解する」のではなく、「カラダにしみ込ませる」ことが何より重要だと考えている「ほっとねっと」が、「一度実際に話を聞いてみたかった」講師、「なかなか奈良には呼べない」講師など、ゴージャスな講師陣に御協力

頂いて実施する期待度120パーセントの講座です。すでにメンバーには「予告版」のチラシなどをお届けしていますが、是非多くの皆さんに御参加頂きたいと思っています。参加者は確実にスキルアップが展望できますし、参加者同士のネットワークで、各地域でかかえている様々な課題を解決するためのヒントが見えてくるかも知れません。一コマずつでの参加はもちろん、全講座を通して参加すると、いっそう効果的だと思っていますので、是非まわりにも広げてください。

●もうひとつの日本郵政公社「年賀寄付金配分事業」は、昨年秋に募集があるのを見つけ応募していたもので、ベースになっているのは、やはり県との協働事業に提案したものの採用されなかった「若者支援事業」。忘れてかけていた4月下旬に連絡があり、ビックリ。考えているのは次のようなことになります。是非皆さんの御協力をお願いします。

■「困難を抱える若者の支援事業」 実施にむけて

「困難を抱えた若者」といえば、「ニート」「ひきこもり」という言葉が思い浮かぶと思います。しかし、混沌とした社会の中で何らかの「生きづらさ」を引き受けている若者の姿はもっと多様で、とてもこのような一括りの言葉では表現できないのではないのでしょうか。また、就業や目に見える形での社会参加だけが進むべき道とは限りません。ただ、現状より生きやすくなり、前向きに未来設計ができるようになるためには、何らかの助け合いが必要だとは思っています。

そこで、ほっとねっとが設立以来続けてきた「弱者のためのITサポート」「人権ワークショップ」そして「ひーとびーとの森」の冒険遊び場づくりの中で培ってきた手法や「自尊感情」を大切にすることを生かして、とりあえずは安心して集まれる「たまり場」づくりをしたいと思います。

プログラムとしては、各地で相談会を開催しながらパソコンの「ワード」「エクセル」、英会話教室をベースに、それぞれの思いを聴きあったり、自分の未来をデザインしてみたり、興味のある分野

の検定試験にチャレンジしてみたり、実践的なプチ講習の選択受講をしてみたり、自分をいろいろな形で表現してみたり…といったワークショップを繰り返していきます。

全体を通してキャリアカウンセラー、相談員、そして様々な分野で活躍するサポーターが、一歩踏み出す若者を全面的に支援します。あなたの身近に、何らかの困難を抱えて悶々としている若者(10代～30代)がいたら、気楽に集いながら、じっくりと将来設計を立てられる場所ができるそうだよ、とお知らせください。また、支援方法も多種多様でありたいと思いますので、あなたのご協力をお待ちしております。よろしく！

<およその日程です>

6月 各地で相談会。

7月～12月 ワード・エクセル講習、英会話教室、交流ワークショップ。

8月にはアウトドア、9月11月にはプチ講習

12月にはクリスマスパーティ。

来年1月～3月一歩踏み出すためのアクション(資格試験、求職活動、やりたい分野へのアプローチ)とまとめ。

自分らしい生き方を見つきたいあなたへ.....

『若者の居場所』づくり 説明・相談会

日時 6月23日(金)・6月30日(金) 午後1時～午後8時

場所 県解放センター2階和室

(奈良市大安寺1-23-1、奈良交通大安寺バス停下車)

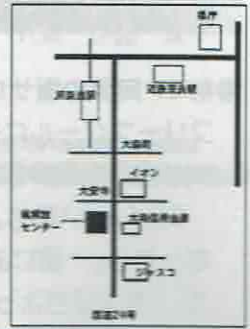
参加費 無料

一所懸命がんばっているのに、わかってもらえない。
社会から置いていかれるような不安や焦り…。
そんな感じを抱いていませんか？

真面目で、気が優しくて、「いい人」が、とても生きにくい世の中です。ほっとねっとでは、そんな若者たちがそれぞれのペースで、自分の未来の設計図づくりをする、若者(年齢は問いません)の「たまり場」づくりをしてみようか、と思っています。

説明会と相談会を開催します。いろいろお話を聞かせていただきたいと思います。

悩みをかかえ込み、じっとしてはじまりません。とりあえず、一歩踏み出してみませんか？



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ★何か新しいことをはじめたい ・一人で打ち込める何か ・数人の仲間と取り組む何か ・大勢の力が必要なことへの参加 ★自分を生かせる場所を見つけた ★自分に合った仕事をみつけたい ★就業に向けたアクションを起こしたい ★自分なりの生き方をみつけたい ★いまやっていることを発展させたい | <ul style="list-style-type: none"> ★何かスキルを身につけたい ★とりあえず人の話を聞いてみたい ★とにかく話を聴いてほしい ★ひとまず落ち着ける場所がほしい ★有り余るパワーを注げる場がほしい ★じっくり将来設計がしたい ★パワーを蓄えるための充電期間がほしい ★世の中と自分のつながりづくり、ながまづくりをしたい |
|---|---|
- そんなあなたをお待ちしています**

電話 0742-64-0015 (AM9:30-PM5:00)
メール: notnet@bilnara.jp
 説明・相談会は、今後も県内各地で実施します。また、電話・メールでの御相談は随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。

ひとこと言わせろ!

●社会学者宮台真司さんの言説を、僕は何かにつけ参考にさせてもらっている。彼は自己実現のモデルとして「仕事上ではない非消費的自己実現」を提示している。要するに人間、何に生きがいを見出すかということなんだろうけど、仕事で自己実現するには、パイが限られていて、現実にはごく限られた一部の人にしかこの道は開かれていない。消費による自己実現も、一部の金持ちには可能だが、普通の人やるとサラ金地獄に陥ってしまう。それに刹那的で代償的だ。

●仕事でもなく、消費でもない自己実現っていうのは、「生活すること」自体に生きがいを見出すということなのだと思う。パブルがはじけて不況になり、節約や倹約が必要になった時代に、僕が痛感したのは貧乏な人ほど消費にイカれてる場合が多いということだった。衣食住に工夫をこらし、消費を減らして倹約するということができないの

だ。言うまでもないが、「消費」はライフスタイルを決める。消費に無自覚に依存するのは、自分の生き方を自覚的にコントロールできていないということだと(お酒の消費をコントロールできていないことを自省しつつ)僕は思う。

●それは能動的に生活するという姿勢の問題でもあるけれど、能力の問題でもあったのである。お金をあまり使わずに衣食住を楽しみ、たとえ仕事にできなくとも自分の好きなことを楽しみ続けるということなら、多くの人に道は開かれる。言い方が気恥ずかしいけど、時代の要請からそうした考え方が、スローフードからスローライフ、ロハス(まだ意味がよくわからないけど)として立ち現れて来ているのだろう。

●生活を楽しむ力をつける。子どもにもおとなにもそうした力をつける機会が必要なのだ。ひーとびーとの森での遊びが、そういうことにつながったらしいのと思うのだが…。

野次馬情報

掲示板

●第27回夢の樹サロン

フリースクールに通う子ども達の保護者と、ゆっくりお茶を飲みながら悩みを分かちあいませんか
「しんどいなあ。」そんな思いを抱えきれなくなったら、一緒にお茶を飲みながら話をしましょう。「今よりちょっぴり成長できたらいいな。」そんな思いが膨らんできたら、共に学びましょう。今より少しだけ前を向いて少しずつ「夢」を紡ぎながら、自分の「夢の樹」を育てていきましょう。「サロン」はそんな貴方のためにあります。お気軽にお越しください。お待ちしております。

日時 6月10日(土) 13:30～15:30

場所 NPO法人 夢街道・国際交流子ども館

参加費 500円

申し込み先 電話又はファックスで国際交流子ども館まで= TEL&FAX:0774-76-0129

主催 夢街道・国際交流子ども館

夢の樹会(フリースクール・親の会)

●田植え体験しませんか??

青少年の自然流自立塾・NOLAでは、今年も「あいがも田」にて田植えを行います。ちっちゃい子からお年寄りまで、どなたでも出来ますので、興味のある方、体験してみたい方はぜひぜひご連絡下さい。

日時 6月7日(水) 13時～

6月10日(土) 13時～

場所 吉野郡吉野町

お問合せ 自然流自立塾「NOLA」

639-3322 奈良県吉野郡吉野町殿川 1441-2

TEL & FAX 07463-5-7656 (9:00～21:00)

Eメール info@nola1.com

●県とNPOの協働事業提案募集

県では、今年度も県民に一層効果的で質の高いサービスを提供ができる協働事業についての提案をNPOから募集することになっている。昨年は「ほっとねっと」の提案を採択していただき、今年度事業で「人権教育コーディネータ&ファシリテータ養成講座」を行うことになっていますが、

NPOからの積極的な事業提案で、地域課題の解決と豊かな社会の形成を目指しましょう。

応募期間 6月1日(木)～6月30日(金)(郵送の場合は当日消印有効)

審査方法等

◇第1次審査:庁内で組織する「ボランティア・NPOとの協働推進会議」で書面審査

◇第2次審査:NPO関係者及び有識者等で構成する審査委員会において、提案者からの公開プレゼンテーション及び書面審査

申込・問合せ先

県生活環境部 県民生活課ボランティア・NPO係
TEL:0742-27-8715・FAX:0742-27-6139

●県「なら男女GENKIプラン」を策定

県では、このほど男女共同参画社会基本法及び奈良県男女共同参画推進条例に基づき、男女がお互いにパートナーとして思いやり、ともに心豊かな生活を送ることができる社会を目指し、「なら男女GENKIプラン(奈良県男女共同参画計画(第2次))」を策定しました。

詳細はHPにて参照できます。

<http://www.pref.nara.jp/danjo/gplan.htm>

●人が大切にされる、豊かな関係づくり講座

自分を大切に、相手も大切にする、そんな関係をつくれたら…。「人が大切にされる関係づくり」への第一歩を見つけませんか。

日時:6月14日(水)、21日(水)、29日(木)、7月6日(木) 7月13日(木)

いずれも13:00～16:30

場所 大阪・ドーンセンター

(<http://www.dawncenter.or.jp/>)

※7月13日(木)は13:00～15:00、大阪人権博物館(リパティおおさか)にて、

受講料:無料(先着40名)

応募方法:郵送、ファックス、電子メールにて、申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記へ。

主催:大阪府、(財)大阪府人権協会・、愛ネット大阪(人権啓発推進大阪協議会)

お問合せ、応募は(財)大阪府人権協会人権啓発部。

Tel:06-6568-2983、Fax:06-6568-2985

E-mail: k-hatu-bu@jinken-osaka.jp

※ここに紹介しきれない情報はメルマガにて配信します。HPから登録してください。

「聴く」ことの大切さを再確認

奈良人権相談ネットワーク学習会

人権救済や人権相談にかかわるネットワークづくりが求められる中で昨年、「なら人権相談ネットワーク」が県内行政機関やNPOなど88団体(ほっとねっとも入ってます)で立ち上げられましたが、7月18日にはこのネットワーク加盟団体で相談員として活動するメンバー向けの研修会が田原本町の県立教育研究所で開催され、約60人が参加しました。

この日は、臨床心理士の藤掛永良さんを講師に「聴く力～効果的なカウンセリングの基本」をテー

マに学習とグループ討議、さらに児童家庭支援センターてんりの本山雅己さんからの事例報告を受け、意見交換を行いました。



藤掛さんは、C・ロジャースの「来談者中心療法」を紹介し、『相談』は、受ける側の一方的な考えによって指示したり、命令したり、代行したりすることではなく、あくまでも相互の話し合いによって相談者自らが自分の問題を克服していけるように支援すること」としました。あらためて「聴く」ということの大切さを再確認しました。

「e場所」の誌

従来からお伝えしている今年度の大事業=e場所。まだまだ試行錯誤ですが、ほちほちとはじめています。途中経過をお知らせします。

●奈良エリア

「若者のe場所」を奈良市内では7月に週1回のペースで4回開きました。6月23日、30日の説明・相談会へ参加してくれた人の「資格取得のため、など目的があるほうが参加しやすい」「夕方以降の方が来やすい」という声を受けて、事務系の就業にも有利なパソコンの検定試験としては定番の「マイクロソフト・オフィススペシャリスト」(以下MOSと略)の「Word」「Excel」受験対策用教材を用意して、フリースペースをオープンさせました。MOSの試験は「Word」でも「Excel」でも、いくつかのスキルを習得していけば合格ラインに達することが可能です。そのため、毎回順番に少しずつツザを身に付けていけば来春頃までには試験にチャレンジできるのでは、と思います。ただ、それも個人のペース、思い次第。参加者は今のところ、その教材にはほとんど手をつけず、誰かに伝えたいメッセージを打ち込んだり、他の場所で習ったことの復習を試みたり、手を休めて話し込んだり…。打ち込んだものは最後にプリントアウトします。これが次回への意欲につながっているみたいです。その日の「成果」を形に残す、誰かにメッセージを渡す、ということが大事なんだと感じました。

●榛原エリア

宇陀市榛原総合センターでは、7月7日に第1回

目の集まりを持ちました。こちらの方は、スタッフでかなり具体的に「つながりたい」人を絞って働きかけ、若者7人、サポーター4人が集まりました。お互いの自己紹介と、将来の夢を話し合う「すごろく」で、まずはいい関係づくりからはじめ、これから月1~2回のペースで集まろう、ということになりました。次回は8月4日の予定。後で気づいたのですがこの日は榛原の花火!。早めに切り上げて、みんなで花火見物もいいかな、と思っています。

●支援の難しさとネットワークの広がり

でも、まだまだ「e場所」に来てくれる若者は、少ない状態です。生きづらさを抱えている若者たちに何か力になりたいと思ってはじめている「e場所」ですが、肝心のその人たちにはなかなかメッセージが伝わりにくいようです。まあ、積極的にこういう場所に出てこられるなら、支援の必要はないか…。

一方、ありがたいことに支援・指導・協力・助言してくれるサポーターは次々と現れています。また、e場所のやり方、伝え方として「もっと対象を絞らないと誰のためにもならない」「シンドさへの寄り添い方が足りないのでは?」などのアドバイスももらっています。

例えば「ニート」「ひきこもり」。それって悪いことでもなんでもないのに、それをどうにか変えようとしている動き方になっていないだろうか、など、こちらもいろいろ迷いの連続、試行錯誤の繰り返しです。今後どのような進展を見るのか、進展があるのかどうかも、よくわからないというのが正直なところです。でも、来てくれる人がいる限り、ちょっとでも役に立ちたい!よりよい「e場所」運営のため、ご協力よろしく。

「e場所」 日誌

奈良市内でのe場所は8月も週1回のペースで、パソコンフリースペースとして開催しました。それまでどちらかというと、他のパソコン教室で学習したことの復習や指ならし、そしてほんほん飛び出す会話を弾ませていましたが、最近はそれプラス、マイクロソフト・オフィススペシャリスト受験対策の教材を着々とこなす時間が増えてきました。

人数は少ないけど、定期性、継続性を維持できていい感じ。9月からは、いままで会場にしていた県解放センターが改修工事のために使えなくなるのを機に場所を変えて、もっとたくさんの人に参加してもら

えるように、もっと多様なネタを用意したパソコンフリースペースとしてパワーアップしていこうかな、と思っています。「ひたすらタイピングレッスン」とか「要約筆記や会議記録ができるスキル習得」とか。告知がなかなか行き渡らない、情報・意見交換の場が持ちにくい、という問題を解決するためにインターネット上にサークルを立ち上げました。サークルのメンバーになってくれる人いませんか？

●e場所の仲間が「ほっ」とできる場所
ナビータなら (<http://www.navvita.jp/nara/>) → 「参加サークル」 → 「ジャンル仲間を作る」 → 「同好者」から「e場所 パソコンフリースペース」。会員登録は無料。ブログ、掲示板で連絡します。

アリガトウございました

この夏も、会員・支援者のみなさんから、いろいろプレゼントしてもらいました。
ありがとうございます。

- アプリコットファミリーが今年の夏もまた来てくれました！(8/20 写真)。
到着するなりみんなで椅子の製作。できあがった椅子は「ひーとびーとの森」に寄付していただきました。いつもいつも愛をありがとう♪
- 他にも桜井市の清川正弘さんからビール3ケース。FさんやIさん、Tさんらには草刈やデッキの製作等々、筆舌に尽くしがたい御協



力をいただいております。感謝、感謝。
●また、近いうちに奈良町界隈に新しい事業展開を始めようかと検討中です。いろいろ御意見ください。くわしくは理事長のブログ (<http://blog.sonet.ne.jp/hotnet/>) を御参照ください。

参加者募集！

「2006人権啓発・教育コーディネーター養成講座」(後期プログラム)

～あなたも、「じんけんコミュニティワーカー」になりませんか？

日にち	テーマ(内容)	講師
□10/14(土)	「のびやかに自分になる」	伊勢 達郎さん(自然スクールTOEC)
□10/21(土)	「ワークショップで感じる・考える」	栗本 敦子さん(Facilitator's LABO)
□11/11(土)	「参加型学習の手法と効用」	岩山 仁さん(グローバルコンテンツ)
□11/25(土)	「自分さがしとカウンセリング」	水野 阿修羅さん(メンズサポートルーム大阪)
□12/9(土)	「新しい人権論」	伊田 広行さん(立命館大学非常勤講師)

※場所はいずれも、橿原万葉ホール4F、時間は午前10時～午後4時30分
参加希望の方は、ほっとねっと(TEL/0742-62-0015)まで御連絡ください。

「e場所」 日誌

「若者のe場所」。正直、9月も「なかなか人が集まってくれない状態」のまま続行していましたが。それでも週1回のペースで開くパソコン・フリースペースに来てくれている参加者は、マイクロソフト・オフィススペシャリスト（以下MOSと略す）受験対策教材の「Word」編を終了。10月からは「Excel」編に取り掛かっています。MOTを受験するかしないかは別にして、特にExcelはカレンダー作りや「合計を出す」といった超初歩的なことからデータ解析など超高度なことまで、あらゆる分野で幅広く活用されているスグレモノなので、使いこなせるようになれば、個々人の将来の生きる世界そのものを広げてくれることになるのではないかと、密かに楽しみにしています。

9月は会場として奈良市北市町の「なら環境交流館」をお借りしました。それまで利用していた「県解放センター」が工事のため借りられなくなったからですが、e場所開設にあたって参考のために見学させてもらったフリースクール「SAKIWA」のように、参加者が友達や親戚の家に来たみたいなの、フツの家っぽい、ほっとできるスペースがいいな、と思い、古民家をそのまま使われている「なら環境交流館」にパソコンを持ち込んでのフリースペース開設でした。開設したのは各2時間ほどでしたが、昭和の香りのする部屋でゆったり過ごせたのではないかと思います。ただ、やはり将来的には「SAKIWA」のように、恒常的な自前の拠点が必要との思いはあり、目下実現に向けて検討中。



ひとこと言わせろ！

- ◆「美しい国づくり」をかがげ、安倍氏が総理大臣に。所信表明演説では「再チャレンジ支援策」や「頑張る地方応援プログラム」など、小泉改革の後遺症をフォローするような方針も打ち出してはいるが、真のねらいはむしろ教育基本法や憲法改「正」と見る向きが多い。初の戦後生まれ首相による、この国の舵取り。さて、今後のなりゆきは？
- ◆9月はいくつかの「研究集会」に参加してきました。そこで提起されたのは、少子高齢化、2007年問題、年金や医療の問題、フリーター・ニートの問題や非正規雇用の問題…。ホントにこれからどうす

●パソコンで要約筆記

「若者のe場所」は何らかの生きづらさを抱えた（自称）若者のほっとできる居場所、元気になれるスペースという趣旨で始動しましたが、検定受験対策プログラムを用意するだけの、ハローワークやボランティアセンターと同じ、単なる就業支援、活動への橋渡しになってしまわないために、参加者が世の中に何らかの働きかけをしながら「ここで、やれること」づくりも徐々に増やしていこうと思っています。



その一つが「講演、研修時などの要約筆記とその記録保存」事業です。「IP-TALK」というソフトを使って講師などの話をリアルタイムで表示し、その

データを保存する、というもので7月から実際の講演会で試運転を始めました。パソコン上で操作するものですが、やっていくうちに、それなりにタイピング速度などの基本スキルや「人の話をよく聴き、自分なりにまとめて伝える」といった、自分を生きやすくするコミュニケーション・スキルが身につくことが期待されます。まずはそんなスキルをぜひ身につけたいというスタッフが試みています。まだまだ試行錯誤なので、いろいろアドバイスいただける方や興味をお持ちの方は是非お知らせください。

●e場所の仲間が「ほっ」とできる場所

ナビータなら (<http://www.navvita.jp/nara/>) → 「参加 サークル」→「ジャンル 仲間を作る」→「同好者」から「e場所 パソコンフリースペース」。会員登録は無料。ブログ、掲示板で連絡します。

るの？

- ◆10月から「障害者自立支援法」が全面的に施行されますが、多くの作業所が今後の先行きに不安を訴えています。どう頑張っても、新法への移行ができない作業所はどうすればいいの？閉鎖したら、そこに通っていた障害者はどう暮らしていけばいいの？
- ◆NPOも、「新たなパートナーシップ」などと持ち上げてもらっているものの、国や自治体の財政難のツケをまわす、安価で安上がり「下請け機関」と思っているんじゃないの？
- ◆「がんばらないけど、あきらめない」。養成講座の講師に教えてもらったこの言葉。最近の、率直な気持ちです。

06.12.1
J-20
3

■ e- 場所日誌

交流に参加してきました

主にパソコンフリースペースとして開催していた「奈良会場」のe場所。刺激を求めて、11月17日、外国人のたくさん集まるコミュニティスペースにお邪魔してきました。年末にカフェとしてオープン予定の、ならまちのど真ん中の町屋の2階。寄せ鍋、おでん、芋煮など、和のフードと各国の酒が盛りだくさんの中、世界中を自転車で旅する人、すっかり奈良町の住人となっている外国人、農に興味を持ち、国内だけでなく、各国で農業体験をしている日本人などなど、バラエティ豊かな面々との話は尽きませんでした。英語圏の人たちばかりではないのに、日本人も外国人もみな英語に堪能な中、通訳つきでの会話はちょっと恥ずかし



かったです。外国人をそれぞれのやり方でもてなし

しよう、という全国ネットワークがインターネット上で展開されていて、同じ思いの人たちが、たとえば今回のように奈良で交流会があれば全国から駆けつける、ということが当たり前に行われているようでした。新鮮な風にふれたe場所の国際交流?でした。(もはや国際交流、という言葉が古くなっている、と感じました)

ESDによる「教育改革マニフェスト」をつくろう

教育基本法の「改正」問題や「いじめ」など、何かと教育をめぐる議論がにぎやかですが、ほっとねっとが加盟している『持続可能な開発のための教育の10年』推進会議(ESD-J)では最近、会員間で相互に発信し、情報提供をしあうメールの中で、ホットなやりとりが進行中です。

理事の森良さんが「ESDによる教育改革マニフェストをつくろう」と提案したのをきっかけに、多くの会員から賛同や意見が寄せられています。

案の骨子はカコミ内のような内容ですが、これに対して例えば、人権教育関係者にとっては馴染み深い、もう一人の森(実)さんからは次のような意見が寄せられています。

曰く「案1.の(3)で「参加型開発」とあるのを「参加型の社会づくり」としてはどうか。…日本で「まちづくり」と呼ばれているのは、英語のコミュニティディベロップメント(community development)だと聞いたことがあり、「開発」を「社会づくり」とする方がわかりやすい。

この意見はESDの捉え方、今後の方向性について考える上でとても参考になりそうです。ESDの中の「開発」という言葉がどうもピンとこないとは思っていましたが、国内での取り組みの場合「持続可能な『まちづくり』のための教育」である

ならば、わかりやすいですね。あらゆる分野で重要なキーワードとして共有すべき「持続可能性」。そのための教育を私たちの足元でつくりあげていくためにも、このホットなやりとりに注目していきたいです。

一緒に「ESDによる教育改革マニフェスト」をつくってほしい人、森案へのご意見、ご感想はほっとねっと(hot-net@bilnara.jp)まで。

「ESDによる教育改革マニフェスト」(案)

1. 人生をつくり社会に参加する力を育てる
 - (1) 知識を構成する主体は子どもたち(社会構成主義の教育理念)
 - (2) 社会的協働学習による人格と集団の発達、市民的公共性の育成
 - (3) 参加型学習から参加型開発へ
2. 学びの共同体により持続可能なコミュニティと地域をつくる
 - (1) 「今のままでのやり方では続けることができない」ことを持続可能にする
 - (2) 持続可能性の根拠としてのコミュニティ
 - (3) 学びの共同体が地域を訪ぎ直す
 - (4) 教育と「国連ミレニアム開発目標」
3. 教育の地方分権・地域分権を進める
 - (1) 教育委員会を公選性に強化する
 - (2) ナショナルカリキュラムからコミュニティカリキュラムへ
 - (3) 地域PTAによりコミュニティスクールを運営する
 - (4) 学校教育と社会教育の融合・一体化を進める
 - (5) 生涯学習コーディネーター、学校コーディネーターが学びをつなぐ
4. 教育、雇用、社会保障の一体的対応をはかる
 - (1) 教育、雇用を含む「人生前半の社会保障」を実現し、「チャンスの平等」をはかる
 - (2) 高等教育、職業教育を充実させる
 - (3) 新しい公共事業を推進する
5. 教員の質を高め、教員を大切にする
 - (1) 大学の教職課程カリキュラムを改革する
 - (2) 大学の教員再教育コースを整備する
 - (3) 教員の研究・研修を保障する

題材として、WSの大枠をつくる
ことができました。十分に時間が
あればそれぞれグループからアク
ティビティーを紹介・披露しても
らい、完成に向けて煮詰め、とも
に練り上げる作業となります。



幸田さん

短時間でしたが「あ～それいい
やん」「あーこうしたらどう？」と
思うところがあり、「こーやったら作れる！」とい
う学びが大きくありました。ボールを使った即興
のロールプレイでは、「日頃、夫婦でこんなやりと
りしてるな～(反省)」なんていう場面も。これら
のネタは、きっと「ほっとねっと」の大きな財産
になる！

幸田さんのお名前は様々な講座で拝見するこ
とが多かったのですが、実際にWSを体験したのは
今回がはじめて。今回の講座の核となる教材づく
りの他、全体を通して色々なところで経験を積み
重ね、試行錯誤しながら幸田さんのWSができ



あがっている
んやあ～と感じ
ました。

2日間の日
程を終了し「今
年もおもしろ
かったなあ～」

と実感。

次の日、早速Sさんから連絡が。「来年(もう今
年ですが…)もゼツタイやろう！ゼツタイ行くか
ら！今から日い空けとくわ！」とうれしい電話。

年を重ねる毎に深まっていく「なんかええ感じ」
の講座。「あー今度はどんな講座にしようかな？」
ともう年の瀬を考える年のはじめです。

たくさん力を下さったみなさんに感謝！！と
りわけ、新しく参加してくれたメンバーがみんな
いい感じで研修を創ってくれました。

アリガトウ。今年もよろしく。

e-場所、ラッピング講習、英会話教室

ならまち「由庵」にて 開催します

パソコンフリースペースを開催してきた「奈
良会場」のe-場所の会場が1月15日から新しい
場所になります。

新会場は12月にオープンしたカフェ「由庵」の
2階スペース。毎週月曜日、午後1時～午後5時
まで、参加費千円(茶菓子込み)となります。今
まで通りのパソコンフリースペースで、パソコ
ンが置いてありますが、おしゃべりしにきても、
何しても(お部屋は借り物なので大事に使っ
てね)、何もしなくてもOK。ネット接続環境が整備
されているので自由にインターネットが閲覧で
き、ネット検定挑戦、ネットオークション参加な
ど、いろいろ可能性も広がりそうです。

「由庵」は、町屋に囲まれた「ならまち」のど真
ん中にあります。落ち着いた雰囲気の中、ゆった
りとくつろげるスペース。無農薬の大和野菜やお
茶、大和肉鶏など奈良県産のもの、またはフェア
トレードで仕入れた外国産のものを使う、こだわ
りのスローフードの店です。また、単にカフェと
いうだけでなく、参加体験型で自分と自然・歴史・

文化との関わりを深める「エコツアー」の拠点を
目指しています。そして在日外国人との交流や外
国人観光客をおもてなしをする、インターナショ
ナルなコミュニティスペースでもあります。こん
な特徴を持つカフェ「由庵」なら、ほっとねっと
の思いをリンクさせることができる、というこ
とでスペースをお借りすることにしたわけです。自
称「若者」の皆さん、どなたでもお気軽にご利
用ください。

フリースペース開催のほか、各種実務講習を開
催したり、パソコン教室、英会話教室の定期開催
も予定しています。今、決まっている行事は次の
とおり。

☆ラッピング講習：
1月27日(土)、2月
3日(土)、2月10日
(土) 14時～16時

☆パソコン初級講座：
毎週月曜日18時～19
時(1月15日～)

☆英会話教室：
毎週木曜日18時～19
時(2月中旬～)



※いずれも茶菓子代、
教材費込みで1回千
円。日程は変更の場合があります。詳しくはほっとねっとまでお問合せください
(TEL/0742-64-0015)。

e 場所日誌

和の空間でほっと…

前号でお伝えしました通り、奈良市内でのe場所は1月から新しい場所で定期的にオープンさせています。

大阪市内の就労支援カフェ「ココルーム」や奈良市内のフリースクール「SAKIWAI」で定期開催されている「若者のほっとスペース」などを参考にしながら、和とエコロジーを追求するコミュニティカフェ「由庵」の2階をお借りして、毎週月曜日の午後1時から5時まで「パソコンフリースペース」を開催しています。

昨年は公民館などでの不定期開催を余儀なくされていましたが、今は腰を落ち着けて、ゆったりとした時間の中で、インターネットを見たり、手紙を書いたり、ゴロンと横になったり、話し込んだり、何をしてもOKな、より「ほっとねっと」らしい空間を提供できるようになりました。1月はまだ新しい利用者はなく、昨年からの常連さんが時間を気にすることなく、雑談を楽しみながらも、じっくりとパソコンの検定試験対策の教材に取り組んでくれていました。

また、フリースペースの後、6時から「パソコン教室」を開催しています。早速1人、通っていたパソコン教室が閉鎖されてしまうから、とのことを受講してくれました。一応、基本ソフトの教材は用意していますが、手持ちの教材を持



ち込んでくれてもいいし、それぞれの生活に必要な文書を作成しながら、やれることを増やしていく、そんな教室なので、こちらも今のところ限りなく「フリースペース」に近いものかも。パソコンの台数は少ないですが、今なら穴場かも(〇〇)

それから、当初の予定よりも取り掛かりが遅くなってしまいました。実務講習も27日の「ラッピング講習第1回」でスタートさせました。全3回のうち、この日は風呂敷やバンダナを使っているいろいろなものを包むことを教えてもらいました。今「MOTTAINAI」の考え方で風呂敷でモノを包む生活が見直されています。いろいろな場面で応用できる便利さと和の心を学びました。この日の受講生は2人と寂しいものでしたが、2回目以降はもう少し賑やかになると思います。また次号でご報告します。

さらに、2月からは新講座「英会話教室」が始まります。ワークショップ形式で日本や外国の文化を語り合い、多様なコミュニケーション方法をゆっくりと学んでいきます。

2月の日程：2月10日(土) 午後6時～、20日(火) 午後5時～、24日(土) 午後6時～、
参加費：1回千円(テキスト、茶菓子込み)

■アースデイなら South 参加団体募集

1pで紹介したアースデイなら South の趣旨に賛同し物品販売や展示等で参加していただける個人、団体、企業を募集しています。展示スペース(一こま3×3m)：1000円
模擬店、物品販売(一こま3×3m)：2000円
詳しくは、事務局(0742-64-0015)までお問合せください。

■県内アースデイ情報

・4月15日 or 22日(調整中)：「アースデイ奈良」
(問合せ先：アースデイ奈良実行委員会事務局・田北 TEL0742-30-5755、Email：donguride@yahoo.co.jp)
・4月29・30日に平城宮跡で「アースデイ平城京」
(問合せ先：NPO 法人奈良県民環境ネットワーク TEL0742-24-0080 Email：teco@nara-kankyo.net)

●ほっとねっと有志による現地見学会

テーマ：コミュニティ・ビジネスの現場をみる
～人権・福祉のまちづくりをめざして

日時 2月15日(木) 午後1時～5時

場所 大阪・西成地区

内容 西成の「人権のまちづくり」に学ぶ

※見学コース(調整中につき変更の場合あり)

住宅：民間老朽賃貸住宅建替支援事業によるマンションとコーポラティブ住宅 / 福祉：「ナイス」によるホームレス支援(仲間の家カンパネラ) / 障害者：エルチャレンジの就労支援と総合評価入札の仕組み / 産業：若手の技術者を育成する「西成製靴塾」

※参加費無料、ただし実費は御負担ください。

午後1時に、JR大阪環状線「今宮」駅前に集合。

午後5時をメドに現地解散とします。

※参加申込みは、2月9日までにほっとねっと事務局(0742-64-0015)まで。

ほっとねっと

パソコン教室、ラッピング講座、英会話…

一歩踏み出す春に
なったらいいね

ならまちのカフェ「由庵」での2月のe場所は、月曜日のパソコンフリースペース、パソコン教室のほか、ラッピング講習の2・3回目、そして予定よりかなり開講が遅くなってしまった、待望?!の英会話教室がありました。

就業に向けた実務講習第1回であるラッピング講習は、1月27日のエコロジカルな風呂敷の使い方講座に続いて3日は竹炭・桧チップを薄いと紙などで包んで脱臭剤や癒し効果のある置物に仕上げていく講座を行いました。みんなで、そのままプレゼントできそうな美しい小物に仕上げた後は、竹炭を提供していただいた「木の子村」の川波太さんに、竹炭作りのプロセス、竹炭の効用などについてレクチャーしていただきました。また10日はバレンタイン直前対策!のチョコレートのラッピング。安価なチョコを豪華に包むワザを伝授してもらいました。



英会話教室は10日、24日ガイストパン先生、20日がディビット先生と二人の外国人講師にお願いしました。教わる、という感じではなく、参加者の興味のあることで会話を促進していくフリートーク形式。不二家のこと、海外の治安の問題など、バラエティ豊かな話題で盛り上がりました。英会話のスキルより、普段どんなことを思っているか、それをお互いに伝えようとする気持ちが大事なんだと体感しました。引き続き参加者の多様性で生きやすさが促進される、そんな相互支援のスタイルでやっていこうと思っています。

3月の英会話教室は13日、27日午後6時30分から。また17日には「元ニート」の鈴木友宏さんの写真展とトーク、そして皆で鍋をつつきながらの交流会を行います。鈴木さんは、現在35歳で、学童保育のスタッフとして、日々子どもたちと関わっておられます。「ニート」だった頃、写真との出会いが人生の分岐点となり、若者就労支援団体との関わりから、その体験談を写真を通じて語ることで、若者を支援されています。場所はいづれ

もカフェ「由庵」にて。なお、3月最終週より約2週間、近鉄奈良駅ビル赤十字献血ルームギャラリーコーナーで鈴木友宏さんが写真を出展される予定です。是非御見学を。

一方、月に一度のペースでコツコツと進めてきた榛原のe場所。1月



は26日に榛原駅前のケアフィールド・ハーネスさんの事務所をお借りして、新年会を兼ねての交流を行い、スタッフを含めて10人が集まりました。「今年の目標・抱負」でそれぞれ夢を語り、「もしもあなたが社長なら?」というテーマで、仕事について考えてみました。「へ〜」という意外な側面、「なるほど」というアイデアが飛び出して、楽しいひととき。日頃、高齢者のケアプラン作成の仕事をしておられるハーネスのケアマネージャー=立花さんからも貴重な体験談を聞かせていただきました。

春。新しい旅立ちの季節。集まっている仲間たちが小さくても、大きな一歩を踏み出せますように…。

■ KENTO 裁判

乗車していたバイクと運輸業者のトラックが接触して死亡した児島健仁さん(当時奈工専学生)の名誉回復を願って、NPO法人KENTOさんが闘われている控訴審が大阪の高等裁判所で継続中です。

昨年の奈良地裁の判決は、遺族や友人、支援者にとっては、まさかの被告人無罪。傍聴した3月2日の鑑定人証人尋問での争点は、バイクのスピード。被告弁護側の主張する時速47キロは、自宅を出てすぐ、見通しの悪いカーブの上り坂であり得るのだろうか?というのが素人の感想です。裁判官には、日常的な当たり前の感覚と、冷静な科学的、物理的分析をお願いせずにはいられない思いで裁判所を後にしました。その後4月20日の被告弁護側の反対弁論の後、5月ごろ判決の見通しです。

「元ニートと呼んで」

鈴木君の写真展

3月17日、パソコンフリースペースの会場であるカフェ「白毫」2階で「元ニート 鈴木君の写真展」をNPO法人ブルームと共催しました。

小学生時代からの長い不登校・引きこもり状態の後、学童保育の指導員となった鈴木友宏さんが撮りためた写真を展示して、その写真の意味するものや、それを撮った時の心境などを1作品ごとにご本人に説明してもらいました。例えば、コスモス畑の中で楽しそうに記念写真を撮るファミリーのスナップには「自分もこんな親子関係を築きたかったなあ」との思いが込められているとか。

写真説明の後は自分の半生を語ってもらいました。「ニート・引きこもり状態」を脱したきっかけは、昨年初めに、大阪市内の就労支援カフェ「ココルーム」に電話したこと。電話口で「あなたはニートですか」と聞かれ「はい」。この時初めて自分を「ニート」と認識できたことが立ち直りの第一歩となり、まずは「ココルーム」を手伝いなが



自ら写真の説明をする鈴木さん

ら仕事を探し、やがて学童保育の指導員となる過程で毎日、朝起きて電車に乗って仕事に行くという日常ペースを徐々につかんでいったとのこと。当事者、元当事者、当事者の親、支援者と様々な立場の参加者一人ひとりに「何でも聞いてくださいね〜」と声をかけながらのトークはとても魅力的でした。

この後閉店後の1階カフェを借りて鍋会タイムに。こちらでは参加者がそれぞれの思いをリラックスして語る事ができたようでした。「元ニート 鈴木君と呼んでください」というセルフプロデュースがナイスです。

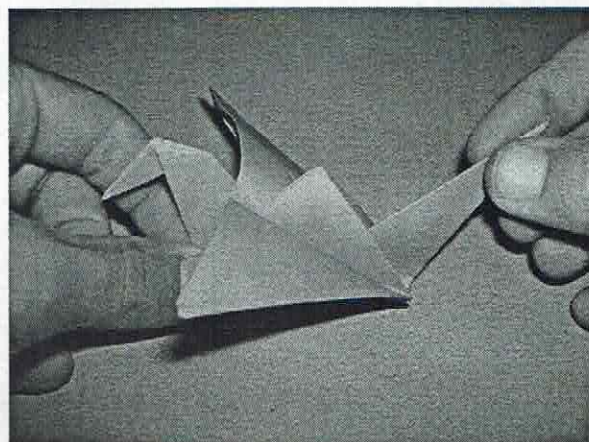
■「きゅうちゃん」をご存知ですか？

きゅうちゃんは、折鶴ならぬ、折バトです。パタパタと羽ばたく「しかけ折り紙」です。チャーリーさんという日本在住イギリス人が日本国憲法の9条の素晴らしさを訴えるために、折バトを折りながら日本全国を旅しておられます。3月には奈良にも来られました。9条の重要性に、子どもからお年寄りまで、もっと多くの日本人に気づいてほしいということです。

「アースデイならSouth」と同日の4月22日に奈良公園で開催される「アースデイ奈良」では、きゅうちゃんをみんなでつくって奈良公園を飾ります。

アースデイ奈良のメニュー

●ステージ：環境劇&びいすばんど、アコーディ



オン演奏、ヨーガ、江戸伝統芸「かっぽれ」、エスペラント語での「ふるしき実演」等（奈良公園）

●販売：竹炭、廃油せっけん、黒米おにぎり他エコグッズ（奈良公園） ●展示：写真展、パネル展、環境ビデオ上映（文化会館多目的室） ●スタンプラリー（協力、賛同してくださるお店）

申込・問合せ：アースデイ奈良2007 実行委員会（TEL・FAX0742-30-5755 / 田北、Email: donguride@yahoo.co.jp）

HOT NET PRESS

2007.1.1 第53号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと
 奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満
 ● tel 0742-64-0015
 ● email hotnet@bilnara.jp
 ● HPurl <http://www.bilnara.jp/hotnet/top.html>

じぶんらしく、 しなやかに生きる

2007.1

新年明けましておめでとうございます。

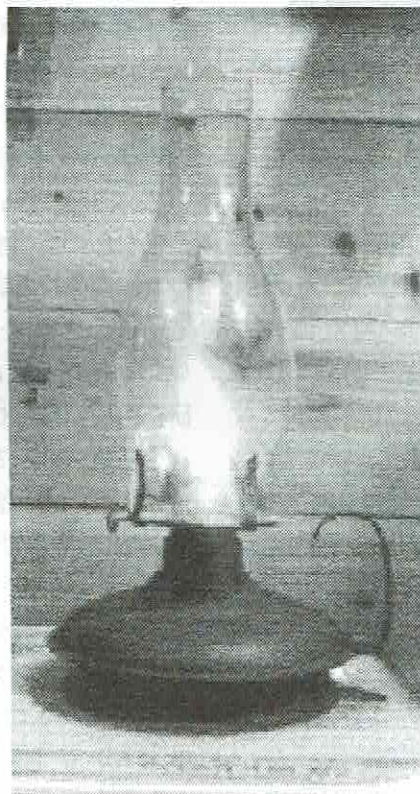
陰惨な事件が相次いだ2006年の暮。私たちの社会は、単に環境問題においてだけではなく、社会の側面においても持続可能性が問われてきているという思いが強くなっています。

昨年もまた、ほっとねっとは様々な活動を展開しました。従来の活動に加えて、奈良南部でのアースデイ、ハードな人権ファシリテーター養成講座の開催、ノート支援の「e場所」づくり、拠点としての隠れ家づくりの模索、一面の菜の花を夢想しての畑仕事等々。必ずしもすべて実現した訳ではありませんが、これらの活動を通じて、私たちの漠然とした思いにつながってくれる多くの人々と知り合えたことを、大変嬉しく思っています。

さて、本年。人権NPOという捉えどころのない組織特性を生かして、さらに柔軟に活動を展開してみたいものです。遠大だが漠然とした思いを曖昧につなぎながら、予想を超えて大きく変化する社会の中で、じぶんらしく、しなやかに生きる方法を模索したいのです。当分キーワードは持続可能性ということ…。

本年もよろしくお願いします。

理事長 伊藤 満



7分芯の 灯油ランプ

どうだ！この風格！

今キャンプで使っている灯油ランプの芯を買いに行ったのだが、店に行ってみるとどうしても欲しくなった。

新品のガラスのを買いそうになったが、店の片隅に置いてあった、味のある金属製の灯油入れのモノを見つけた。錆だらけなので、錆を落とすて使いますよと言うと、店の人はダメだと言う。拭いてもダメ。こういうものはホコリを払う程度にして下さいとの

こと。骨董品か！次のキャンプに持って行くのが楽しみだが、その前に持ち運び用の箱を作らなければ！（I）



ひーとびーとの森はすっかり冬景色。鹿の足跡もいっぱい…
 いのししも？
 春になったらチューリップのいっぱい咲いてる画像がアップできまように…。何色が咲くのかわからないのですか…。

多くの出会いと学びが…

2006 人権啓発・教育
コーディネーター養成講座



●年末は宿泊研修で！

恒例となった宿泊研修（今回で4回目）。今年は「2006 人権啓発・教育コーディネーター養成講座」の総仕上げの位置付けで12月22日～23日、奈良市畑中の佐保人権文化センターをメイン会場に行ないました。（メイン会場となっているのは、センターでの研修会のほか、昼食や夕食、またそれに向かう道中での無駄話もすべて学びの場であると考えているから…）

1日目（22日）の講師は昨年度も来て頂いた宝田裕士さん。宝田さんは奈良市内で小学校の先生をしながら、授業や保護者を対象とした懇談会、また地域の地区別懇談会などで参加型学習をとり入れ人権学習をすすめています。そういった意味から本当にローカルな現場、身近なところでの参加型人権学習について学ぶところが多くありました。

ワークショップ（以下WS）もスタンダードな流れ？に沿って本当に馴染みやすいものばかり。またウラネタも含め、ゆったりとした研修だからこ

そ聞ける、話してもらえることもたくさんあって、様々な仕掛けのなかにある宝田さんのやさしさが十分に伝わってきました。最終的には「12歳の宝物」というWSでみんなでカベ新聞をつくりました。

その後は、「ぶらっと・無駄話の効用」と題しての交



宝田さん

恒例の宿泊研修で総まとめ

振りかえれば昨年的一年間は、たくさんの方々にお世話いただくことばかりの年でした。それと、多くの方々との出会いが。昨年の夏から県との協働事業として行なってきた「2006 人権啓発・教育コーディネーター養成講座」もその一つ。恒例となった年末の養成講座をもって全日程を終了したのですが、毎回、講師の方々や参加者のみなさんから本当に多くの学びを頂きました。（主催側という立場でしたが自分自身とても勉強になりました。）

流研修会。前述のとおり懇親会も大事な研修会なのです。「あーだ」「こーだ」の世間話、無駄話の中にいろんな思いや大切なキーワードがあります。

こちらの研修会から、2日目の講師をお願いした幸田英二さん、顧問的な（こちらが勝手に思っているのですが…）Sさんが合流してくれました。（幸田さん、Sさん。年末のいそがしいところ交流研修会に駆けつけていただきまして本当にありがとうございました。）

参加者同士、また講師（ここでは同じ参加者です。WSもそうか…？）がともに膝を交え、食事とともに語り合う。普段のWSとはまた違ったそれは深～い。濃～い。研修会となりました。（余興の中で普段はオカタイイメージのNさんの素顔も、しっかりチェックさせていただきましたよ（*o~*）

●みんなで創るWS教材

明けて2日目（23日）。幸田英二さん（大阪市人権協会事務局次長）が講師です。この日は「2006 人権啓発・教育コーディネーター養成講座」の最終日という位置付けもあり、「教材づくり」を是非、とお願いしました。打合わせの電話の際に「短時間ではどうかな～」ということだったので、「プロセスのようなものだけでも」と無理をお願いしてすすめていただきました。

実際のところ短時間に凝縮というかたちとなっているため、忙しさはありましたが「あっ」「あっ」となんとかそれぞれが持っている課題を（3pへ）

題材として、WSの大枠をつくることができました。十分に時間があればそれぞれグループからアクティビティを紹介・披露してもらい、完成に向けて煮詰め、ともに練り上げる作業となります。

短時間でしたが「あ～それいいやん」「あーこうしたらどあ？」と



幸田さん

思うところがあり、「こーやったら作れる！」という学びが大きくありました。ポールを使った即興のロールプレイでは、「日頃、夫婦でこんなやりとりしてるな～(反省)」なんていう場面も。これらのネタは、きっと「ほっとねっと」の大きな財産になる！

幸田さんのお名前は様々な講座で拝見することが多かったのですが、実際にWSを体験したのは今回がはじめて。今回の講座の核となる教材づくりの他、全体を通して色々なところで経験を積み重ね、試行錯誤しながら幸田さんのWSができ



あがっているんやあ～と感じました。

2日間の日程を終了し「今年もおもしろかったなあ～」

と実感。

次の日、早速Sさんから連絡が。「来年(もう今年ですが…)もゼツタイやろう！ゼツタイ行くから！今から日い空けとくわ！」とうれしい電話。

年を重ねる毎に深まっていく「なんかええ感じ」の講座。「あー今度はどんな講座にしようかな？」ともう年の瀬を考える年のはじめです。

たくさんの力を下さったみなさんに感謝！！とりわけ、新しく参加してくれたメンバーがみんないい感じで研修を創ってくれました。

アリガトウ。今年もよろしく。

e-場所、ラッピング講習、英会話教室

ならまち「由庵」にて 開催します

パソコンフリースペースを開催してきた「奈良会場」のe-場所の会場が1月15日から新しい場所に変わります。

新会場は12月にオープンしたカフェ「由庵」の2階スペース。毎週月曜日、午後1時～午後5時まで、参加費千円(茶菓子込み)となります。今まで通りのパソコンフリースペースで、パソコンが置いてありますが、おしゃべりしにきてても、何しても(お部屋は借り物なので大事に使ってね)、何もしなくてもOK。ネット接続環境が整備されているので自由にインターネットが閲覧でき、ネット検定挑戦、ネットオークション参加など、いろいろ可能性も広がりそうです。

「由庵」は、町屋に囲まれた「ならまち」のど真ん中にあります。落ち着いた雰囲気の中、ゆったりとくつろげるスペース。無農薬の大和野菜やお茶、大和肉鶏など奈良県産のもの、またはフェアトレードで仕入れた外国産のものを使う、こだわりのスローフードの店です。また、単にカフェというだけでなく、参加体験型で自分と自然・歴史・

文化との関わりを深める「エコツアー」の拠点を目指しています。そして在日外国人との交流や外国人観光客をおもてなしをする、国際的なコミュニティスペースでもあります。こんな特徴を持つカフェ「由庵」なら、ほっとねっとの思いをリンクさせることができる、ということでスペースをお借りすることにいたしました。自称「若者」の皆さん、どなたでもお気軽にご利用ください。

フリースペース開催のほか、各種実務講習を開催したり、パソコン教室、英会話教室の定期開催も予定しています。今、決まっている行事は次のとおり。

☆ラッピング講習：
1月27日(土)、2月3日(土)、2月10日(土) 14時～16時

☆パソコン初級講座：
毎週月曜日18時～19時(1月15日～)

☆英会話教室：
毎週木曜日18時～19時(2月中旬～)



※いずれも茶菓子代、教材費込みで1回千円。日程は変更の場合があります。詳しくはほっとねっとまでお問合せください(TEL/0742-64-0015)。

野次馬情報

掲示板

●ストップ温暖化市民講座

「食から考える温暖化防止」

日時：1月20日(土) 13:30～16:00

場所：奈良商工会議所中会議室(近鉄奈良駅前)
〔プログラム〕

- ・講演「食から考える温暖化防止」(中尾卓嗣さん/環境省近畿地方環境事務所環境対策課)
- ・体験「こんなに使える!ふるしきの魅力」
- ・ワークショップ「私もやるぞ温暖化防止」

定員：60名(先着順)、参加費：無料

主催：奈良県地球温暖化防止活動推進センター
きんぎ環境館申込・問合せ：奈良県地球温暖化防止活動推進センター
(TEL/FAX:0742-35-6730 E-mail:otoiawase@naso.jp)

●第44回あかおにシアター「華麗なる一族」

(山本 薩夫・監督 / 1974年劇場公開作品)

キムタク版と見比べたら面白いかも。

日時：1月13日(土) 14:00～(211分)

場所：桜井西人権文化センター

(近鉄大福駅から南へ約400M、国道165吉備交差点から北へ約100M)

参加費：無料(…なのになおやつ付)

主催：部落解放同盟大福・吉備支部

●阿部司さん講演会

「食品の裏側」～いのちをつなぐために～

食品添加物の元トップセールスマンが明かす加工食品の実態。食品製造の舞台裏を教えてください。いろいろな食品の「添加物で作り出す実演」も交えての講演です。

日時：1月24日(水) 10:00～12:00

場所：いかるがホール 大ホール

参加費：500円(当日700円) 2歳未満同席可

主催：生活協同組合 コープ自然派奈良 阿部司講演会実行委員会

問合せ：コープ自然派奈良(TEL0743-59-6660)

チケット購入方法：郵便局の備え付けの「払込取扱票」で支払い、チケットとして「払込兼受領書」を当日持参する。

口座記号番号：00930-3-169171

加入者名：コープ自然派奈良

●カフェテラスNZ定例ライブ

日時：1月27日(土) 15:00～(約2時間)

代金<チャージ>¥1500(ドリンク代は別)

定員：20名<予約制>

ゲスト：池本達哉&ウリボッサ/タイトル：『冬のボッサノバ』

申込・問合せ：カフェテラスNZ(奈良市奈良市法華町1330-1、TEL0742-42-7115)

●継続勉強会「奈良におけるフードケアを考える」

日時：1月21日(日) 13:30～15:30

場所：たんぼぼの家アートセンターHANA会議室(奈良市六条西3-25-5、TEL0742-43-7055)

内容：安全で安心して食べられる、体に優しい食べ物を安定的に供給できる「フードケア・システム」を自らの手で。

費用：500円、学生250円、定員：30名

主催：なら・フードケア・システム研究会

申込・問合せ：特定非営利活動法人 奈良NPOセンター奈良県(奈良市水門町100 旧東大寺学園内)なら・フードケア・システム研究会事務局(TEL0742-20-5027、FAX0742-20-5028、E-mail:info@naranpo.jp)

●『山小屋を造ろう!』第1回

奈良県青少年自立特別支援受託事業・自立への足がかり「ボランティア・就労体験」全5回事業～山の中に隠れ家のような「山小屋」を自分たちで建ててみませんか～

日程：1月25日(木)～26日(金)

内容：木の伐採・製材所の見学etc、定員：10名
申込・問合せ：自然流自立塾NOLA(吉野郡吉野町殿川1441-2、TEL0746-35-7656、FAX0746-35-7657、Email:info@nola1.com)

●持続可能なライフスタイルとビジネスモデルを

求めて-「持続可能な消費と生産」の政策動向-

日時：1月17日(水) 13:30～17:15

場所：神戸ポートピアホテル本館地下1階
(TEL078-302-1111)

主催：(財)地球環境戦略研究機関(IGES)

参加費：無料、定員：150名(先着順)

申込・問合せ：(財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター 国際シンポジウム事務局(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1、IHDセンター3F、TEL078-262-6634、FAX078-262-6635)

HOT NET PRESS

2008.3.1 第67号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市大安寺1-23-1 代表 伊藤 満

●tel 0742-64-0015

●email hot-net@blnara.jp

●HPurl <http://www.blnara.jp/hotnet/top.html>

春は すぐそこまで…

プレイパークにアースデイ
.....

アウトドアに 出かけよう



「森」ではフキノトウが
芽を出した

大和路に春を呼ぶ
アマゴたち

この前ひーとびーとの森で草刈りをした際、森の鉈をクルマに積んだまま帰ってしまった。ずっとクルマに積んでいるというのもヤバいので、森に返しにいった。

草刈りをしようかなとも思ったが、小雨がパラっていたこともあってその気にならなかった。森を少し歩いてフキノトウが芽を出しているのを見つけた。

明日から出張なのだが、明日はホームグラウン

ドの櫛田川の解禁日なのだ。それで、釣りはできないが、川の下見を兼ねて入漁券を買いに行くことにした。ついでに、もし連絡がとれれば、一昨年近所から飯高町に引っ越していったTさんを訪ねてみようと思った。…続きは理事長のブログで

→ <http://hotnet.blog.so-net.ne.jp/>

●アースデイなら South のブログはこちら

→ <http://edns.exblog.jp/>

春の小川で「アマゴ釣り」しませんか？

～自然観察&プレイパーク～

♪春の小川は さらさら いくよ…♪

ほっとねっと会員にはお馴染みの「ひーとびーとの森」周辺（淀川源流域）にも ようやく春の足音が聞こえてきました。今年は特に雪が多かったのですが、今ではフキノトウが芽を出し、近くの川ではアマゴ釣りも解禁。

そこで、「森」を拠点に去年からやっている「子どもと確かめる淀川原流域の環境」5回目は、内牧川の観察、清掃とともにアマゴを放流、親子で溪流釣り体験をやってみよう、という企画を考えました。是非御参加ください。

■日時：3月30日（日）

10：30～15：00

■場所：ひーとびーとの森

宇陀市榛原区八滝

参加費：18歳以上＝300円、

6歳以上＝150円

持物：弁当、水筒、着替え、タオル

参加申込み&詳細はほっとねっと事務局へ。

電話：0742-64-0015

email:npohotnet@yahoo.co.jp

4月20日は

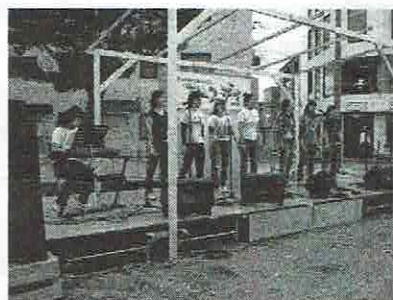
アースデイなら South へ

「この環境の危機は、地球規模のものですが、人知の及ばないものでも私たちがくい止められないものでもありません。まさにこの危機というものは、これまで私たちが行ってきたこと、これまで私たちがとってきた政策・やり方の結果なのです。地球上に生きている私たち人類がこの泥沼に自分たちをおとしているのですから、私たち自らがこれを救い出すべきです」

(アースデイ 1990の呼びかけ文より)

アースデイは、上記呼び掛け文にある趣旨を具体化するためのもので、毎年 Earth Day (4月22日) を中心に世界各地で、持続可能な社会を表現するための自由なイベントやアクションが行われています。

本年も、昨年、一昨年同様、実行委員会設立を呼び掛けて「アースデイなら South」を、4月20日(日)に、近鉄八木駅に程近い奈良県橿原文化会館前広場で開催したいと思っております。



「ほっとねっと」では、この2年の

とりくみの反省も踏まえ、またさらに楽しく、興味深くしていくための企画・工夫を行い、広く市民の方々と環境のことを考えていけるイベントにしたいと思っております。

ご賛同いただきます団体並びに個人の方々の様々なご意見をいただくことにより、最終段階の企画をまとめあげていきたいと思ひ、3月10日にも実行委員会を開き、協議する事にしていますが、是非多くの皆様の御協力をお願いします。(「実行委員会に参加したい」「店を出したい」「ボランティアをしたい」という方は、下記まで)。

詳細は、次号で紹介するとともに、ブログでもお伝えしていきますが、とりあえず、

- アースデイなら South のブログはこちら → <http://edns.exblog.jp/>
- 関連情報はこちらから → <http://www.earthday.jp/blog/>



みんな集れ アースデイに!

アースデイ なら South

とき 4月20日(日)

ところ 奈良県橿原文化会館前広場

(近鉄八木駅から東へ約100M)

※ボランティアや出展のお問合せは TEL=0742-64-0015 まで。



「菜の花」だより

来月、いよいよ開花へ!?

最近のガソリン高もあって、「バイオディーゼル」などという言葉も新聞に頻りに登場するようになってきましたが、それと「菜の花」が結びついている、ということはまだあまり知られていないかもしれません。

ほっとねっとが「菜の花プロジェクト」として借りている田原本町法貴寺の畑で、2月18日、25日に除草、追肥作業をしました。18日には将来的に車の燃料になる?! 菜の花に興味を持つ近所の人に見に来ていただきましたが、とてつみなさず

ざる手作業の雑草抜きに「そんな100人いても足らんで〜」



と呆れ顔で帰っていかれました。

25日の追肥は、有機肥料で。ヒトの廃棄物からつくったものです(0) 効き目はピカ一だそうで、どちらかというと肥え負けしないか心配です。

来月は、いよいよ開花! …のはずです。

学生が発行する 福祉のフリーペーパー

— Waka media に注目を!

「Waka media」は、奈良県在住もしくは県内の大学に在籍する学生(=若芽)が作る福祉のフリーペーパー。学生と福祉の活動をつなげることを目的に創刊され、現在2号を配布中です。活動の趣旨・思いを紹介してもらいました。

初めまして、私たちは「奈良地域取材班-若芽」と申します。…活動の中心は奈良の大学生で、「地域とのつながり」をテーマに活動しております。

私たち若芽は、「自分たちの住む地域についてもっと興味を持ってもらい、その中で福祉とは自分とは無関係なものではなく、実はもっと身近なものだと知ってもらおう。」と考えて活動しております。

つまり、特定のものをサポートする団体ではなく、地域に関わることを全てに目を向け、そのことが何かの「気付き」や「原動力」になることを目指して日々努力している次第です。

まだまだ未熟ではございますが、ご理解、ご協力をいただけますと幸いに存じます。

頑張れ、奈良の学生たち。情報提供や活動への参加希望者は wakamedia@excite.co.jp まで。

奈良発

子どもたちに安全な食べ物を

DEAR CHILD

青森県の六ヶ所村には、原子力発電所の核廃棄物を再処理する工場があり、今は7割の仮移動で、処理工程上に不備があり、本移動が延期されています。この再処理工場の近辺で採れた食べ物を買ひ、子ども達に食べさせることは大いに不安があります。しかし、いたずらに不安をあおるだけでは、青森県の生産者は生きていけない。私たちの生存権、生産者の生活権、子どもの未来…。国や自治体には責任があるはず。はたしてどうしたらいいのか?

奈良の母親グループ (DEAR CHILD) がこの問題に取組もうとしており、まずは実態調査への協力者を求めています。

<手順は次のとおり>

①買った商品の中に三陸産、青森産のものがあれば、ラベルを切り抜く。

②買わなくてもスーパー、百貨店等にそれらの商品を見つけたら、メモをとる。

③それらについての情報(産地、商品名、製造者名、店舗名)を、メールで「DEAR CHILD」に知らせる (email: dearchild1103@yahoo.co.jp)。

※「HOT NET PRESS」の読者は、ほっとねっとに知らせていただいても結構です。よろしくお願ひします。

野次馬情報

掲示板

●第59回あかおにシアター

作品：若者たち

(森川 時久=監督 / 1967年公開作品 / 白黒)

日時：3月8日(土) 14時～

場所：桜井西人権文化センター

主催：部落解放同盟

大福・吉備支部

参加費：無料(…なのに?おやつ?付)



●「憲法が語られる会」第39回

老田誠一さん「戦争体験について」

日時：3月13日(木) 18:30～21:00

場所：金子モーターズ会議室(近鉄奈良駅前、奈良交通市内観光バス案内所南側通路を北に入ってすぐのプレハブ建物2階)

●人権ゆかりの地フィールドワーク

「洞村移転の歴史をたずねて」

日時：3月15日(土) 9:15受付、9:30集合

集合場所：近鉄畝傍御陵前駅

コース：畝傍御陵前駅→国源寺→大久保神社→神武天皇陵→生国魂神社→おおくほまちづくり館→畝傍御陵前駅(解散)

参加費：500円

問合せ・申込：奈良人権・部落解放研究所(TEL0742-62-5179, FAX0742-62-8609)

●カフェテラスNZ・あらいなおこトリオライブ

出演：あらいなおこさん(クロマチックハーモニカ)、井川由美子さん(アコーディオン)、嶋村よし江さん(キーボード)

日時：3月15日(土) 14:00～

チャージ：1500円(ドリンク代別)

問合せ：カフェテラスNZ(奈良市法蓮町1330-1、TEL0742-42-7115)

●国際文化交流劇団・曼珠沙華 チャリティ公演

日時：3月16日(日) 18:00～20:00

場所：ならまちセンター市民ホール

参加費：2500円

主催・問合せ・申込：NPOかけ橋愛染乃会・奈良(TEL・FAX0742-47-7413 加藤)

●Music&Meet!～音楽と共に楽しもう～

日時：3月18日(火) 13:00～15:00(なら若者サポートステーションに13時に集合)

講師：高本恭子さん(音楽療法士)

定員：10人(要申込・申込締切：3月13日)

問合せ・申込：なら若者サポートステーション

(TEL・FAX0742-22-5023)

●性と生を考える会サロン「人権学習の練習問題」

日時：4月3日(木) 18:30～20:45

場所：奈良市生涯学習センター(予定)

ゲスト：吉田智哉さん

参加費：500円(お茶、資料代)

問合せ：中田(Email: nakatah@pop06.odn.ne.jp、

携帯：090-9543-4978)

●第11回『とおく&びいすばんどライブ』

日時：3月29日(土) 13:30～

場所：生成(奈良市東登美ヶ丘5-12-1)

内容：〇とおくライブ「手作りを楽しむ」

〇びいすばんどライブ

参加費：コーヒー・紅茶・ケーキ・資料代：1,000円(中学生以下500円)、材料費1,500円

※参加には申込みが必要です。

問合せ・申込：Email: sakai-mouri@lagoon.ocn.ne.jp

TEL090-5961-6803(藪田)

●ストップ温暖化市民講座

「食育から考えるストップ温暖化」

日時：3月16日(日) 13:30～16:00

場所：生駒市コミュニティセンター(生駒セイセイビル)4階402～404会議室(近鉄生駒駅より南へ徒歩3分/温暖化防止のため公共交通等で)

内容：△講演「食育から考えるストップ温暖化」

講師：中尾卓嗣さん(自称うんち博士)△実践体験談「もったいない陶器市」(食器のリユース・リサイクル)発表者：樽井雅美さん(奈良県ストップ温暖化推進員)△環境家計簿<生駒市環境地域協議会(ECOMA)>の紹介・展示等

定員：100人 参加費：無料(要予約=3/12まで)

※託児あり(無料・要予約)

主催：奈良県、奈良県地球温暖化防止活動推進センター[NPO法人 奈良ストップ温暖化の会・NASO]、生駒市環境地域協議会(ECOMA)

問合せ・申込：同センター TEL・FAX:0742-35-

6730、Email: otoiawase@naso.jp)

●カンパありがとうございました。

清川正弘さん(桜井市) = 5万円

HOT NET PRESS

2008.4.1 第68号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市高畑町1202-7 代表 伊藤 清

● tel 0742-64-0015

● email hot-net@bilnara.jp

● HPurl <http://www.bilnara.jp/hotnet/top.html>

早春の森で アマゴ放流&釣体験

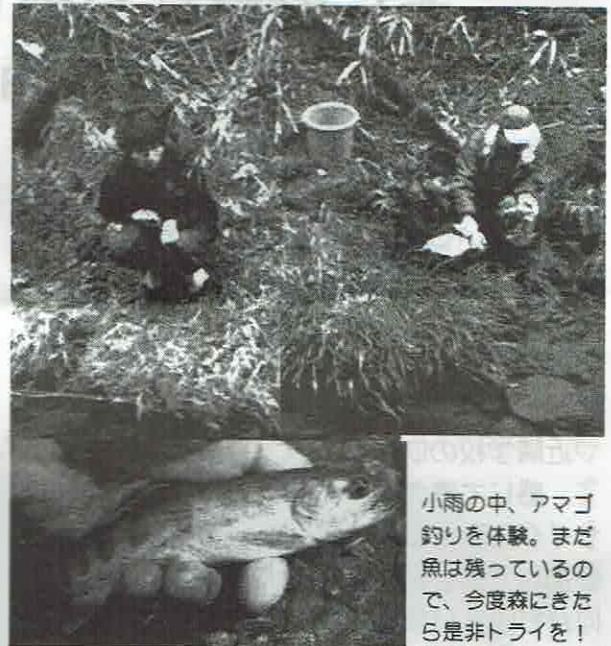
3月30日、久々に森のイベントを開催しました。

あいにくの雨天となり、キャンセルが続出。人数的にはさびしいイベントとなりましたが、森の前を流れる川にアマゴを放流し、釣りを体験するというだけの企画だったので、のんびりと楽しむことにしました。

11時ごろ、バケツリレーでアマゴを水槽から川へ。放流したとたん、次々とすごいスピードで下流へと消えていくので、慌てて流れの速くなる手前でせき止めてくれる参加者も。

続いて釣り体験。ほとんど岩陰に隠れたアマゴも釣り糸を垂れると姿を現して「釣果」はまずまずのようでした。夏に向けて、ここに残ってくれたアマゴの生育を観察するのが楽しみです。

お昼は理事長特製?!の「焼餅鶏南蛮うどん



小雨の中、アマゴ釣りを体験。まだ魚は残っているので、今度森にきたら是非トライを!

ん」。今年に入って雨が多かったせいか、ほだ木の椎茸がいつになくたくさん生えていたので、鶏肉、長ネギとともにうどんの具にしました。「おいしい、おいしい」と何杯もおかわりする子どもも。

午後からは本格的に空の機嫌が悪くなり、年度最後の水質調査とゴミ拾いはできませんでしたが、また次の機会に。

事務所を移転しました



懸案となっていた事務所を、4月から奈良市高畑に借りる事になりました(地図参照)。

ほっとねっとの事務局としての機能と、市民運動との交流、フロアを利用したの語らいの場、様々な活動支援のための物品販売の場として活用できるよう、検討中です。

電話、ファックス等が決まれば追ってお知らせ

しますが(しばらくは今の連絡先でOK)、とりあえずこの場所を利用してのミーティングを4月25日の6時から行います。参加できる人は是非よろしく!

なお、この付近は違法駐車取締の重点地区となっています。そんなところで借りるなよ、という声も聞かえて来そうですが、とりあえず御注意を!



4月20日は

アースデイなら South へ

～楽しみながら感じよう環境のこと～

参加自由・入場無料

環境を大切にしなければならないと言う気持ちは誰でも同じ。けど、その気持ちを行動に移している人はまだまだ少ないのではないのでしょうか。アースデイを1人1人が環境のことを考え、行動するきっかけにしてください。

NPOや市民団体、行政の活動展示、発表や近隣学校の吹奏楽、バンド演奏などを聞いて、感じて考えてみてください。模擬店、リサイクルショップなどもありますので気軽に参加して楽しんでください。きっと、新しい何かが始まります。

【イベント内容】

<ステージ>バンド演奏（丸山祐一郎&こやまはるこ、Salt & Uribossa、八木中吹奏楽部、榎原高校吹奏楽部）、トークショー、パフォーマンス、各団体アピール

<芝生広場>洞爺湖サミットへのメッセージ、パネル展示、リサイクルマーケット、飲食バザーなど

<榎原文化会館小ホール>セミナー「飛鳥川の環境」

.....
カンパ&ボランティアも

よろしく!

.....
アースデイなら South & アースデイ奈良開催の資金集めのため、募金箱つくりました。

集まったお金は両方のアースデイで分け合ってつかえます。開催間近の今からでは遅いような気もするけれど…。

集まるお金の額よりは、募金箱をいろいろなところに置いてもらうことで「アースデイ」という名前が一人でも多くの人に知られることを期待しています。御協力いただける方は、ほっとねっとまで。当日ボランティアも募集していますので御連絡よろしく。

(0742-64-0064)



みんな集れ アースデイに!

アースデイ なら South (少雨決行)

とき **4月20日(日) 午前10時～午後4時**

ところ **奈良県榎原文化会館前広場** (近鉄八木駅から東へ約100M)

-
- 主催/ アースデイなら South 実行委員会 事務局: ほっとねっと (0742-64-0015)
 - 協力団体/ リバーポリシーネットワーク、榎原市環境対策課、榎原市労働組合協議会、NPOまちづくり国際交流センター、大和高田沖繩平和文庫、NPOワールド・ヒューマン・ブリッジ、NPO大和循環型社会創造機構、NPO飛鳥自然塾、ほっとねっと…

「菜の花」だより

ひーとびーとの菜の花畑
看板も設置しました

菜の花畑でお花見だ！

♪もうすぐ春が ベンキを肩に～

お花畑を 散歩に来るよ～…♪

サクランボも満開。春ですね～。田原本の「ひーとびーとの菜の花畑」にも、お陰さまで、なんとかが花が咲き出しました！一斉に咲くというよりは、4月いっぱい、畑のあちらで咲き、こちらで咲き…という風にばらばらに少しずつ開花していく感じです。

一斉に咲くサクランボもいいが、けなげな菜の花も良いぞ！そんなマイペースな花たちの様子を観ながら、♪約束どおり～♪ 菜の花畑でお花見、やりましょう。



菜の花畑 お花見パーティ

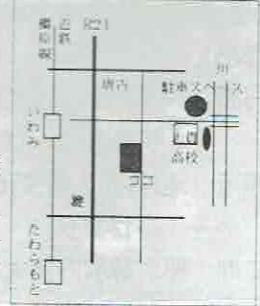
4月26日(土)

11:00～14:00

昨年搾油した菜種油で天ぷらパーティを開催します。おにぎりとお水筒を持って来て下さい！

迷った時は、

090-8233-9172 (寺前) まで、よろしく。



昨年度に引き続き、大阪コミュニティ財団から助成を受けられることになりました。

ESD を担う
次世代育成を

テーマは「国連持続可能な開発のための教育の10年」(ESD)。ほっとねっとでは既に04年からワークショップを開催するなどしてESDについて理解を深めてきました。また、どの事業も「持続可能性」というキーワードを大事にしながら進めてきましたが、それらをひとつながりの輪にしていきます。

タイトルは「持続可能なまちづくりを担う次世代を育てたい!」。ESDの考え方に基いて子どもとその指導者に次世代の地域を担う力をつけてもらいたい、というのが狙いです。

タイトルと狙いは大げさですが、要は「アースデイ」「ひーとびーとの森」「菜の花畑」といったイベントにより多くの若者に運営段階からスタッフとして関わってもらったり、未来型コミュニティに欠かせない「ワークショップ型会議」やITスキルを習得する場を提供したり、廃材利用のモノづくりや和太鼓体験など、今までやってきたことを運動させてより面白くやっていきたい、ということです。年間を通して、または興味のある部分にぜひご参加を！

「春」をテーマに

「外国人と学ぶ書道教室」

3月23日(土)、奈良カフェ「由庵」で、「外国人と学ぶ書道教室」2回目開催しました。フランス人とイギリス人の旅行者と小学生、社会人など日本人の10人で「春」をテーマに思い思いの字を書きました。墨をするところから始める書道は、外国人だけでなく、日本人の参加者にとっても初体験だったようでした。

10月から始まった、ならシルクロード博記念国際交流財団から助成を受けての外国人との交流行事「英語でフリートーク&和食パーティ」「書道教室」前12回は無事終了しました。

家族や同僚、同級生、ご近所など身近な日本人同士での会話や付き合いがシンドイ人でも、無国籍状態で英語でのやりとりならラクな気持ちで楽しめる、笑顔になれる人も結構多く、こういう交流の場所への参加が社会に積極的に出ていききっかけにもなり得る、ということもわかってきた半年でした。



野次馬情報

掲示板

●第60回あかおにシアター
上映作品「包帯クラブ」
(堤 幸彦・監督 / 2007年公開
作品)

日時：4月12日(土)
午後2時～(118分)

場所：桜井西人権文化
センター

主催：部落解放同盟大塚・吉備支部
参加費：無料(一なのお?あやつ?)

●「新・あつい壁」上映会

日時：4月11日(金)
18:00開場、18:30上映

場所：田原本青垣
生涯学習センター

料金：前売り1200円
(当日1500円)・

高校生以下・シニア・
障害のある人 = 1000円

主催・問合せ：奈良人権・部落解放研究所
(TEL0742-62-5179、FAX0742-62-860)

●古代米・赤米「紅染めもち」販売

NPO法人関西青少年自立支援センターNOLAで、
合鴨農法で丹精込めて作られたお米です。
玄米での販売です。「赤米の食べ方」等の案内も同
封されます。

料金：100g300円、140g(1合)400円、200g500
円、700g(5合)1600円、1Kg2000円、1.4Kg2500
円(送料別)

申込・問合せ：NOLA(担当・菊澤) TEL0746-35-
7656、FAX0746-35-7657、kiku@nponola.com

●第1回奈良アート・クラフト祭

陶磁器・木工・染織・漆器・ガラス・金工・竹細
工・革細工・オブジェ・アクセサリー・・・手作
りの店約200店が出店。木焼アート無料体験や竹
馬遊びなども!

日時：4月26日(土)・27日(日) 10:00～17:00

場所：奈良県文化会館前「つどいの広場」

※「奈良のうまいもの」春のフェア(県庁内回
廊下)同時開催!



主催・問合せ先：ならの会

(TEL0742-24-1180RAHOTSU内)

●奈良県環境県民フォーラム主催「菜の花まつり」

日時：4月12日(土) 10:00～14:00

場所：奈良市北永井町の休耕田

内容：春の虫や植物を探そう(自然観察)/ナタネ
油を使った野草の天ぷら、試食/ネイチャーゲー
ムなど※弁当・水筒、試食用の箸皿を持参のこと
参加費：無料

問合せ：県環境政策課(TEL0742-27-8732、E-mail:
kankyo@office.pref.nara.lg.jp 担当 野玉)

●奈良県内のアースデイ情報

☆アースデー2008inなら

日時：4月20日(日) 9:45～14:30(開場9:15)

場所：奈良県第一浄化センター自由広場(大和郡
山市額田部南町、近鉄ファミリー公園前駅下車)

内容：大和川クリーン作戦(清掃)、ステージプロ
グラム、廃食油回収、体験コーナー、手作り工作、
フリーマーケット、展示コーナー

問合せ先：ならコープ(TEL0742-35-1183、
<http://www.naracoop.or.jp/index.html>)

☆アースデイ奈良2008

日時：4月20日(日) 10:00～16:00

場所：奈良公園登大路園地(奈良市登大路町、県
庁前、近鉄奈良駅下車)

内容：ステージ(ライブ、劇、パフォーマンス等)、
ブース(展示・体験)、エコグッズ販売(食品・物
品)、スタンプラリー

問合せ先：アースデイ奈良2008実行委員会
(TEL0742-30-5755、090-8233-9172、Email:
donguride@yahoo.co.jp

URL:<http://earthdaynara.jpn.org>)

☆アースデイ平城京(遷都祭と同時開催)

日時：5月3日10:00～16:00、4日10:00～15:30

場所：平城宮跡資料館講堂(近鉄西大寺駅下車)

内容：パネル展示、講演、演奏・歌ほか

問合せ先：奈良県民環境ネットワーク

(TEL0742-24-0080、Email:eco@nara-kankyo.net)

●カンパありがとうございました。

五条支部さん(五条市) = 1万円

HOT NET PRESS

2008.6.1 第70号

編集・発行 特定非営利活動法人 ほっとねっと

奈良市高畑町1202-7 代表 伊藤 満

● tel & fax 0742-94-6800

● email hot-net@blnara.jp

● HPurl <http://www.blnara.jp/hotnet/top.html>

6月5日は、「環境の日」



街頭キャンペーンやりました

6月3日、近鉄奈良駅上の行基菩薩前や東向き商店街で、奈良県、奈良市、県ストップ温暖化防止活動推進センター、県環境県民フォーラムのメンバー（ほっとねっとも参加）により環境の日街頭キャンペーンが行われました。洗剤をほとんど使わないですむ布たわしや国産割り箸などのエコグッズを配布しました。



08年度「総会」やります！

ほっとねっと総会を6月20日に開催します。

ほっとねっとがこれからどこに向かうのか、大いに語り合いましょう

2002年にほっとねっとが発足して6回目の総会を迎えようとしています。日頃、じっくり考える余裕もなく展開している様々な活動を、否が応でも総括し、方向を見定めねばならない時です。

ひーとびーとの森、水平社博物館のボランティアガイド、パソコン教室、人権という視点から様々なNPOを結ぶネットワーク、菜の花畑やアースデイをはじめとした環境保護活動など、考えれば活動分野はどんどん広がっています。

会員個人の興味、関心に依拠しながらも、社会の動向を読みながら、人権NPOとしてのほっとねっとがどこに向

かうのか、お茶でも、お酒でも、飲んで大いに語り合いましょう。是非、ご参加を。

新事務所を拠点に…

新しい事務所では、「なるべくゴミを出さなく」と思っているのですが、きょうも近くのスーパーでプラスチック容器に入った弁当を買い、またもや印刷ミスが発生…とエコロジー&エコノミー、結構難しいです！でも、せっかく多目的に使えるスペースを獲得したんやから、何か「地球にやさしい」取り組みを賑やかにできないもんか。アースデイに参加している他団体や個人の取り組みを参考にさせてもらって。(3ページへ)



6月20日(金)

午後6時30分～

新事務所にて

奈良市高畑町1202-7

tel & fax : 0742-94-6800

(参加できない方は委任状をファックスしてくださいませよう、お願いします。)



やっぱり？ キーワードはESD！

NIFSでとりくみ報告しました。

5月28日、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団(NIFS)主催の会合(国際交流・協力団体ネットワーク会議)で、前年度にNIFSの助成を受けた事業(「奈良を知りたい外国人と奈良を伝えたい人の出会うカフェ」)の報告をしました。

カフェ「由庵」で開催してきた外国人旅行者との英語フリートークや、外国人とともに学ぶ書道教室について、ほっとねっとが人権のNPOであること、2002年の設立当初からの活動として、差別をなくす取り組みとしての冒険遊び場作りやワークショップ、情報弱者のためのIT支援、水平社博物館や周辺地区でのガイドなどを行ってきたこと、一昨年度からは二つ・引きこもりなど困難を抱えた若者支援活動をはじめ、そのひとつとして、外国人旅行者が常に訪れるコミュニティカフェである「由庵」の2階を借りての「パソコンフリースペース」があり、英語による多様な国の人たちと話をしよう…というこの企画は、その交流の中からヒントを得たものであったこと…などを説明しました。

もともとの主たる活動が「国際交流」ではないのにこのような事業をする例はめずらしいのでは？と思っていたのですが…。同じく前年度のNIFS助成事業を行った他団体の発表を聞いてみると、ほっとねっとの活動と似

通っている、ということがわかりました。

ちょっと紹介してみると…。

宇陀市室生区で海外から訪れる若者に宿泊の場を提供し、地域あげて交流するという活動をしてきた「室生国際交流村実行委員会」さん。地域住民に自信と誇りをもってもらう、という地域おこしの一環としての国際交流。地元の豊かな自然や食文化に目を向けるといった環境教育との接点。

ネパールでの小学校建設・運営支援を続けている「めだカファミリースクールを育てる会」さん。一番大事にしているのは、厳しいカースト制が残っている現状から、少しでも差別をなくす取り組みを、と。なんか、お互に通じるモンがあるなあ、と実感しました。

話の中で、言葉としては出てこなかったけれど、ESD(持続可能な開発教育の国連10年)で人権教育、環境教育、平和教育、異文化理解教育…さまざまな〇〇教育は互いにつながっている、同じ核心を持っている、という視点はますます欠かせないと改めて思いました。

NIFSでは現在、今年度の国際交流助成金への申請事業募集中です。(締切6月20日)奈良県内に所在する民間団体が行う国際交流・国際協力活動に対する助成です。15万円限度、総事業費の2分の1以内の助成です。交流を広げるきっかけづくりに、あたためている企画があれば、応募してみたいかがでしょうか。

サミットよりはやく…

エコの実践&実感を

お待たせしました。「菜の花」の刈り取り作業します。

一般的には、5月下旬～6月上旬が菜種の刈り取り時期。なのでちょっと遅めということになり、鳥に種を食われている可能性もあつたりします。

けど、花も咲いたし、種の収穫もできた！というささやかな成功体験をなんとか積み上げていきたいです。刈り取ったものは近くの高等学校に運

び、19日に学校の中で種落としの作業をする予定です。高校の中で人権教育に接触する環境教育、の小さな芽を育てていたら幸せやなあ、と夢を思い描くこのごろです。6月14日14時から、ひーとびーとの菜の花畑。この日時にお手すきの方、ご協力よろしくお願ひします。

6月14日14時より、

「菜の花」刈り取り作業に御参加を！



封筒リサイクルの 取り組みをはじめます

(1ページより) すぐにはムリ、大きいことはムリだけど、「小さな事からこつこつと」。

もう一つの視点は「障害者」支援。現場にいる人たちから事あるごとに「自立支援法」の問題点やシンドさを聞かされます。地域で当たり前に自立した暮らしができるように、何かできないか。人権と環境と福祉。この3つのものをあわせてひとつの形にできたら…。

そこで使用済み封筒のリサイクル作業に取り組んでみる事にしました。ハンディのある人と健常者がともに封筒を裏返してまた封筒にする作業をしながら、悩みや課題を出し合える場の提供ができたら…と思います。そして作業のために封筒をご

近所からいただいて、できあがったものをお返しするなど、地域とのつながりも深められたら。

あれこれ考えるより、まず行動。というわけで6月22日、1回目の作業&ミーティングを新事務所で行います。環境問題と障害者問題の両方にかかわってきた方に、活動をよい形にする指導者になってもらいます。できた封筒は、まずは「HOTNET PRESS」発送用に使いたいと思っています。

そこで会員のみなさんをお願いします。作業の参加者と使用済み封筒の提供者募集します。封筒は、個人情報保護の観点から宛名や差出人が個人名であるものは避けていただいて、第三者の目に触れても差しさわりのないもののご提供をお願いします。御協力いただける方は、ぜひ事務局まで電話を。よろしくをお願いします。

「いまや日本は、格差社会などという生ぬるいものではなく、階級社会と言った方がいい」。「格差の背後には経済構造があり、一部の人々が他の人々を経済的に搾取している」という観点に立って格差をとらえるのが、『階級』という概念だ。武蔵大学の橋本健二氏のお話で久しぶりに「階級」という言葉を聞いて、逆に新鮮な印象を持った。

詳しい分析は、同氏の著書を参照していただきたいが、今、日本では所得上位2割が、全体の富の半分を所有している、逆に言えば、残り8割の人々の所得をあわせても半分にしかならない。そして、日本に

おけるワーキングプアの増加は、非正規(派遣)労働者の増加が最大の要因。特に深刻なのが若い独身男女のフリーターと母子家庭を含む単身女性の貧困化だ。

このまま進めばどうなるか。

低所得にあえぐ多くの若者は、結婚しようと思ってもできず、しかも低所得の状態から脱出できない。かりに結婚できたとしても、子どもを産み育てる費用がない。このようなフリーターが今後、単身のまま高齢化する。アンダークラス化したこうした人々が集積し、巨大な貧困層が形成される。格差は固定化し、格差それ自体が病気や事故、犯罪などを増加させる。す

でこうした事態がとめどなく進行していることは、新聞の三面記事に掲載される昨今の殺伐とした事件に示されている…。

橋本氏の論理展開は明解だ。

この現状が「健康で文化的な、最低限の生活(憲法25条)」「労働者が、人たるに値する生活(労働基準法1条)」なのか?! 少しずつ声をあげる人々が出てきた。「反貧困ネットワーク(<http://www.k5.dion.ne.jp/~hinky/>)」や「NPO 自立生活サポートセンターもやい([http://](http://www.moyai.net/)

www.moyai.net/)」、作家の

雨宮処凛 ([http://](http://www3.tokai.or.jp/amamiya/)

[www3.tokai.or.jp/](http://www3.tokai.or.jp/amamiya/)

[amamiya/](http://www3.tokai.or.jp/amamiya/)) などだ。新しい

「格差」は、今 最大の人権問題だ

形の「階級闘争」か。いずれにせよ「格差」社会は差別社会であり、「格差」は、今最大の人権問題だ、という認識が必要だ。そしてその立場で、我々はどうしたらよいか。

例えば、最低賃金の引き上げなど、労働行政の面からの格差防止諸施策を求める事。教育の機会均等を実現するための取り組み。当事者同士のネットワーク。これまでも相談活動や若者支援等をやってきた。テーマは壮大だが、具体化は、できるところから地道にやっていくしかない。何よりも、私たち自身がお互いの状況や、厳しい状況におかれている人々に思いを馳せる事が求められている。

野次馬情報

掲示板

●第62回あかおにシアター

映作品：自虐の詩（堤幸彦＝監督 / 2007年公開作品）

日時：6月14日（土）午後2時～（約2時間）参加費：無料（おやつ付）
開催場所：桜井西人権文化センター
主催：部落解放同盟大福・吉備支部
問合せ：090-7345-2229



●性と生を考える会・サロン～人権学習の練習帳
パート2 発想を柔軟にするためのアタマとココロの体操（ゲスト 吉田智弥さん）

日時：6月5日（金）18:30～20:45
場所：奈良市生涯学習センター（奈良市杉ヶ町23 JR奈良駅より約500m）参加費：500円
主催・問合せ：性と生を考える会
TEL・FAX0742-63-1482
（中田 Email：nakatah@pop06.odn.ne.jp）

●第1回自閉症理解講座

内容：「自閉症の人の自立をめざして～ノースカロライナのTEACCHプログラムに学ぶ～」
日時：6月8日（日）午前10:00～12:00、午後14:00～16:00 講師：梅永雄二氏（宇都宮大学教育学部教授）、＜午前＞青年期に向けての準備（幼児期からのライフステージごとの支援）＜午後＞青年期の自閉症のサポート（アメリカでの就労支援事情・青年期への支援事情から日本に伝えたい事）
参加費：1000円、定員120人（興味のある人ならどなたでも）
場所：奈良市男女共同参加センターあすなら（奈良市三条本町8-1 JR奈良駅西出口下車すぐ）
主催・問い合わせ：奈良県自閉症協会（FAX: 0744-33-4755、URL: <http://www.eonet.ne.jp/~asn/>）

●アムネスティンターナショナル奈良グループ
人権セミナー・「人間の尊厳」って何だろう

日時：6月29日（日）14:00～16:00
講師：山本直子さん（外国人労働者奈良保証人バンク事務局長）、参加費：500円
会場：奈良県女性センター（奈良市東向町6、近鉄奈良駅より100m）主催・問合せ：アムネスティンターナショナル奈良（小谷090-4279-7388、<http://www.eonet.ne.jp/~amnestynara>）

●自由空間ねん「ホテル観察の夕べ」

とき：6月14日（土）15:00～20:00頃

ところ：柳生の里 自由空間ねんのフィールド
内容：野外でバーベキュー、ホテルを探しに散策持ち物：お茶、おにぎり、使い捨てでない皿・箸・コップ、長袖の羽織るもの、帽子、靴下と靴（山の夜は涼しいです。暗がりの草むらを歩きます。裸足にサンダルはお避け下さい）、参加費：500円（材料費、保険料他）
申込み：6月11日（水）までに、きたうらまで
主催・問い合わせ：自由空間ねん（きたうら）
Email：jiyukukannen@yahoo.co.jp

●奈良県ボランティア連絡協議会総会 記念講演
「地下足袋の詩 ～歩く生活相談室 29年～」

講師：入佐明美さん（大阪建設労働者生活相談室 ボランティアケースワーカー）
日時：6月14日（土）14:20～16:00
場所：奈良県社会福祉総合センター6階大ホール（橿原市大久保町320-11 近鉄畷傍御陵前駅東出口よりすぐ）、参加費：無料
主催・問合せ：奈良県ボランティア連絡協議会事務局
TEL = 0744-29-0155

●第12回 『とおく&ぴいすばんどライブ』
平和じゃないと好きな音楽もきけない

日時：6月14日（土）（事前申し込み要）
13:30～15:30 とく「在宅医療の現場から」
講師：石原祐佳さん（橿原訪問看護ステーションやわらぎの郷 所長）
16:00～17:30 ライブ「まさと&まあこ」
友情出演：ちいこ（中村千秋さん）
参加費：1,000円（飲み物・ケーキ・資料代含）
場所・主催：生成 奈良市東登美ヶ丘5-12-1
問い合わせ：さかい sakai-mouri@lagoon.ocn.ne.jp
藪田 090-5961-6803

●カフェテラスNZ月例ライブ

日時：6月21日（土）15:00～17:00
場所・問い合わせ：カフェテラスNZ（奈良市法蓮町1330-1、TEL0742-42-7115 さほやま保育園隣）
チャージ：1500円（ドリンク代別）
ゲスト：牡馬（そうま）さん

●平成20年度介護講座

＜床ずれ予防と体位変換＞6月25日
＜脳卒中患者の理解・リハビリ＞7月5日
時間：いずれも13:00～16:00
開催場所：奈良県介護実習・普及センター（田原本町多722 県営福祉パーク内）、参加対象：介護の現場に携わる職員、奈良県民、参加費：300円（資料代）
申込み： 問い合わせ：氏名、年齢、住所、電話番号、職種、資格を明記に上、FAXまたは電話にて。
田原本町大字多722 奈良県介護実習・普及センター
TEL: 0744-34-2800 FAX: 0744-32-8848